

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（588）

2. 日時：令和5年11月20日 13時10分～14時50分
15時05分～17時15分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江崎企画調査官、宮本上席安全審査官※、
秋本主任安全審査官、熊谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、
谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋副主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他16名

原子力事業統括部 原子力リスク管理グループ※、他7名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第4条 地震による損傷の防止（DB04 r. 3. 33）
- （3）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第4条 地震による損傷の防止（施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針））
- （4）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第4条 地震による損傷の防止（施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針））
- （5）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第4条 地震による損傷の防止（施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針）
- （6）ヒアリングにおけるコメント回答資料（ID：230605-08）
- （7）泊発電所3号炉 可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて
- （8）泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大

事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 1.0 重大事故等対策における共通事項 (SAT100 r. 11. 1)

- (9) 泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 比較表 1.0 重大事故等対策における共通事項 (SAT100-9 r. 10. 1)
- (10) 泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表 (技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項 (可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルート))
- (11) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト (技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項 (可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルート))
- (12) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項 (可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルート)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁藤谷です。時間になりましたのでヒアリングを始めます通り、泊発電所3号炉の施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針、これについて事業の方から説明してください。
0:00:15	北海道電力の金子です。当施設の耐震評価に用いる地盤の液状化の評価方針について資料1-1を用いてご説明いたします。
0:00:25	まず、2ページ目をお願いいたします。
0:00:28	経緯と説明概要としまして、今年7月の審査会合において、液状化強度特性の設定方針、
0:00:36	試料採取位置の代表性、施設の耐震評価の解析手法等についてご説明しました。
0:00:41	本資料では、その審査会合における指摘事項に対する回答として、説明事項の①③及び代表性確認指標の選定、説明事項②についてご説明します。
0:00:55	代表性確認指標の選定につきましては、せん断速度代表性確認書に選定しない方針としましたので、設工認段階で、代表性確認指標として相対密度を追加する妥当性について説明するものであります。
0:01:08	次3ページ目をお願いいたします。
0:01:12	藤液状化影響の検討フロー。
0:01:15	と、指摘事項に対する回答及び代表関オオニシ様の選定に関する説明事項の概要を示しております。
0:01:23	と説明項目三つありまして各説明項目の詳細につきましては個別のスライドで説明しますのでここでは割愛いたします。続いて5ページ目をお願いいたします。
0:01:36	説明項目の①、こちら一つ目の審査会合における指摘事項に対する回答を、
0:01:42	指摘事項は、取水口に対する追加の液状化試験位置について、近傍にあるイナダというのが位置することを踏まえ、追加調査位置①に加えて追加調査が必要か検討し、
0:01:54	当該追加調査の要否を説明すること。
0:01:57	回答としましては、サンゴ埋戻しの中で、r e 長野というのが最も低い状況を示していることを踏まえ、取水口近傍でこれより低い液状化強度を示す埋戻度がないか確認するため、
0:02:09	追加調査101に加えて、追加調査が必要と判断し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:14	下の図に示しております、追加調査位置⑩というのを設定しております。
0:02:21	続いて6ページ目をお願いします。
0:02:24	藤説明項目の②、代表性確認指標の選定ということで、ここでは、代表性確認指標として相対密度を追加することの妥当性を確認するため、
0:02:34	最少最大密度試験を追加で実施した上で、相対密度と液状化強度の相関分析を行います。
0:02:43	あと相対密度と液状化強度の相関関係の有無を確認しまして、代表性確認指標に相対密度を用いることの妥当性を、今後ご説明いたします。
0:02:52	今回は室内試験結果が、ちょっとすべて出揃っておりませんので、分析の検討方針をお示しし、分析結果については次回のヒアリングでご説明します。
0:03:04	と下の箱書きの中に、
0:03:06	相関分析の検討方針案を記載してございます。
0:03:11	と液状化強度、RL20と最小最大密度試験から求まる相対密度の値を用いて、総会分析を行います。
0:03:19	相関分析に用いるデータは液状化強度試験と、最少最大密度試験量試験の粒度特性等に留意して、分析を行います。
0:03:27	相対密度と液状化強度相関関係が認められる場合には、代表性分に指標として相対密度を用いることが妥当であると判断する。
0:03:36	こういった検討方針となっています。続いての7ページ目をお願いします。
0:03:41	あと説明項目の③、これがもう一つの審査会合のコメントになります。
0:03:48	と指摘事項としては、設置工認段階の液状化強度特性について、
0:03:52	施設周辺の埋め戻しのエリア分けが可能である場合は、そのエリアごとの試験結果の下限値に設定することを検討すると説明していることに関してエリア分けに用いる指標を示した上で、
0:04:05	その方針について説明すること。
0:04:07	回答としましては、
0:04:10	まず一つ目のマル等、敷地の液状化強度特性については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:15	敷地の造成時と埋め戻し材料が、それぞれ異なるので、まず 12 号埋戻し後サンゴ埋め戻しとこの二つに分けるということをまず前提に考えております。
0:04:26	設工認段階の液状化強度特性については、
0:04:29	この位置に米戻しとサンゴ埋戻しでそれぞれの中で、
0:04:33	埋戻し用の異なるエリアと、埋戻し仕様が規定されたエリアとそれ以外のエリアに、細分化することが可能か検討します。
0:04:43	右側に、エリア分け、エリアの細分化の検討フローを示しておりますけども、
0:04:50	まず相対密度指標に用いまして、これが液状化強度と相関があることを確認した上で、
0:04:58	取放水設備工事によって埋め戻し用が規定されたエリアと、
0:05:02	それ以外のエリアの液状化強度に差が確認できた場合、
0:05:08	一応架橋毒性をそのエリア毎に設定するというのを考えております。
0:05:15	当審査会合の指摘事項に対するコメント回答は以上でして、
0:05:20	続いて基準地震動確定後に追加しましたと液状化強度試験の妥当性確認という項目についてご説明いたしますと 25 ページをお願いします。
0:05:38	5.1 基準地震動に対する液状化強度試験の妥当性確認ということで、ここでは、埋め戻しの液状化強度試験と、基準地震動が地盤に作用した際の地盤の状態を比較することで、
0:05:49	試験条件が、基準地震動相当で実施できていることを確認いたします。
0:05:56	あと 2 日である、基準地震動によって発生する地盤のせん断応力と等価な一定剪断応力、
0:06:02	と、繰り返し回数を求めて、液状化試験結果と比較して、同程度であれば、試験条件が妥当であると判断いたします。
0:06:11	右上の方に試験結果と解析結果の比較のイメージ図を、
0:06:17	示してございまして、
0:06:19	この試験結果白抜のプロットと、解析結果この緑のプロット。
0:06:25	の分布を比較して同程度あるか確認するという検討になっております。
0:06:30	と 26 ページお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:34	基準地震動の1次元地震応答解析実施する位置は、埋戻しどの層厚が最大と平均となる位置を選定しまして、
0:06:43	それを、12号と3号それぞれで、全部で4地点、
0:06:48	選定しています。
0:06:51	と27ページにはその4地点、4ケースの解析モデルを示してございます。
0:06:58	28ページ、28ページをお願いします。
0:07:02	左側には各ケースごとの基準地震動によって発生するせん断応力と等価な一定剪断応力及びソウノと繰り返し回数、
0:07:11	色つきのプロットになりますと、液状化強度試験結果、これが白抜きのプロットでして、その比較結果を示してございます。
0:07:20	基準地震動によって発生するせん断応力と等価繰り返し回数は、
0:07:25	液状化強度試験によるせん断応力へと、繰り返し回数と同程度でありまして、
0:07:30	概ね基準地震動相当の試験が実施できていることを確認しております。
0:07:35	また、一部の基準地震動、
0:07:38	図で言いますと、色つきの破線で示したものにつきましては、最大せん断応力、
0:07:44	液状化強度試験の繰り返し回数の上限値である、200回に対応するせん断応力以下となっております、
0:07:52	こちらにつきましては等価繰り返し回数算出の評価対象外となるものの、液状化強度試験は、このせん断応力を上回るレベルで実施できていることを確認してございます。
0:08:03	本資料の説明はこれで以上となりますが、続きまして今年6月5日のヒアリングでご指摘いただいたコメント1件ございまして、
0:08:13	それを資料1-6、ヒアリングにおけるコメント回答資料の方でご説明させていただきます。
0:08:25	はい。北海道電力の大澤です。続きまして今ご紹介のあった資料1-6についてご説明いたします。
0:08:32	6月5日ヒアリングでのコメントといたしましては、燃料油貯油槽周辺の埋戻しコンクリートと埋戻しの範囲及び液状化検討の妥当性について説明することというコメントをいただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:46	こちらはですね、コメントの経緯といたしましては、基本的にこのP I b II 燃料油貯油のタンク室、これについては地表面に地下水を設定しておりますが、
0:08:56	フロー上、施設がMMRを介して広範囲に分布する岩盤に接しているということで、液状化検討の対象外としておりました。ただこのタンク上部に一部限定的ではございますが梅本指導もありますので、
0:09:10	その辺りの扱いについて、どのようにお扱い整理しているのかというところでコメントを受けたという、いただいたというところが形になってございますこれについて、この資料、コメント回答資料の方で、考え方をまとめてございます。
0:09:25	1ポツの、このP I b通帳輸送の耐震評価のこの方針をまとめておりますが、こちらずれ平面図と断面図でですね、状況を整理してございます。
0:09:35	断面図見ていただいたほうがわかりやすいんですが断面図で、
0:09:39	記載しております通り、このT P 2. 88. 8メートル、こちらまでの側方地盤はMMRを介して岩盤が分布していると。
0:09:48	ということ。
0:09:49	あと、今回ですね、このB I b t o貯油槽の耐震評価に用いている解析モデルもあわせてこの断面図、右側に記載してございますが、解析上もこの8.8メートルまでの構造部材を、
0:10:03	耐震評価上のモデルとしてございますのでこの耐震評価においては、ソクホウはこのMMR及び看板、
0:10:10	になってございまして液状化影響は基本的に生じないということで考えておりますその点を整理しているのが、1ポツの記載内容になってございます。
0:10:20	一方でこの8.8から地表面までの部分的なところについて埋戻し度がございますので、この扱いについては、資料2ページの2ポツですね。
0:10:30	に記載してございます。
0:10:33	こちらタンク室上部躯体の局所評価についてということで、この貯油槽タンク室のハタ8メートルより上部については構造躯体ではないものの、
0:10:43	トレンチ及びタンクのタンク室の地上の開口部、これらを合わせてタンク室上部躯体というふうに記載してございますが、を構成

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	しております、ここの側面は、わずかな範囲ではございますが、梅本城がありますので、
0:10:56	これについて以下の通り、
0:10:59	考えてございますということで箇条書きでしております。まず1点目タンクの上部躯体につきましては、
0:11:06	この下のタンク室の構造躯体と同様に、地表面に設定した地下水を考慮した上で、ジャグの評価式に基づきまして常時及び地震時動圧を考慮した構造評価を実施して、
0:11:17	側壁の健全性は別途確認するつもりでございます。
0:11:21	で、この評価においては、アドテック解析と比較しても比較的保守的に、そのドーム部圧を考慮できるとされている静的R o H Sで、この弱の式で計算いたしますので、
0:11:32	繰り返しになりますがこの埋戻動ワークマルチ表面の限定的な範囲で、そもそも液状化による影響も小さいと考えてございますが、
0:11:40	ますので、このわずかな範囲の液状化による動圧影響であればこの評価の中である程度包絡して
0:11:47	確認ができるものと考えてございます。
0:11:50	以上の通り基本的には、動圧評価をしていけないことを確認するという考えでございまして、下になお書きで書いておりますのは、なおタンク室上部躯体、これにつきましては、
0:12:02	液状化影響を別途考慮して評価するとしている、屋外重要土木構造物である、このB案B I Iディーゼル発電機燃料油貯油槽トレンチ、こちらに繋がっておりますので、基本的にこのトレンチと同等以上の躯体圧を有していることも確認して、
0:12:17	ございまして、このトレンチは別途屋外重要土木構造物として、評価する予定でございますので、その観点からもこの今回の
0:12:25	今申し上げた評価の妥当性というのを確認できるものというふうに考えております。
0:12:31	こちらコメント回答資料の中身としては以上になります。
0:12:54	はい。規制庁藤原です。それでは質疑に入ります。
0:12:58	私の方からちょっとまず確認なんですけども、
0:13:01	資料1-1の3ページ、記載だけかもしれないんですけども、
0:13:07	説明項目2で二つ目の丸で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:12	何か今後説明する、何をかっていうと、相対密度を追加することだとせん。これわあ、いつ、今後いつさしてるのかはちょっとよくわかんなくて、記載ですけど、許可の仮設購入なのか。
0:13:29	はい。北海道電力の金子です。
0:13:31	ところで、今後説明すると記載してますのは、
0:13:36	設置許可の話で、正解と次回のヒアリングでこの分析の結果までお示しするつもりですので、
0:13:44	ちょっとその辺がわかるようにちょっと、
0:13:48	記載で追加したいと思います。はい規制庁藤原です。
0:13:54	もしかしたらちょっとあまり作法ないかもしれんけど、一応あの会合で示すもの。
0:14:01	と、等大体このヒアリングで示される資料というのは
0:14:06	会合で示すの前提で多分書いていただかないと私これ今後って言ったら、この
0:14:12	次によって知る会合の後に、
0:14:15	説明したいのか、もう1回、会合を予定してるんですかってちょっと聞きたくなっちゃうので、そういう時は大体数字ということが書かれてるのが、主メインだと思うんで、そこはちょっと値書き方は注意していただけますかね。
0:14:30	該当電力の兼子です。承知しました。記載の仕方を留意して、
0:14:34	留意したいと思います。
0:14:37	はい。衛藤規制庁フジワラです5ページ目。
0:14:42	これも書き方、書き方というか、
0:14:45	これ、指摘事項に対する回答の仕方っていうふうにちょっと、
0:14:50	1日ともうちょっと、何だろう、理由っていうのをちゃんと書いて欲しいですよ。要は指摘されたのが取水口、或いはやはり7の近くで、
0:15:00	踏まえて何かほかに必要ないかって、
0:15:04	質疑に対して、
0:15:06	ここをやります。
0:15:08	なぜこの場所なのかっていうところが、近いからだとは思いますが、すけども、もうちょっと何か不理由を書いて欲しいですよ。そもそも何で液状化強度が低い。
0:15:18	ウノが出てきたんですかー。
0:15:20	もしかしたらそれをまず柱状図を調べた。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:25	ここに出した上で、柱状図のこういうところに何か弱いところがありましたよ。それでそういった土質はこんな写真ですよ。で、何でこれができたかというとなカセコウの観点で何かでキタナカでしたっけこういった
0:15:39	道路とか、
0:15:41	ああしましたっけね。
0:15:43	そちら
0:15:45	これ、要は、何でもこう弱いのが出てきたかでそれを踏まえて、やっぱりここでいいんだよっていうロジックがないと、何か何となく力だけだとちょっとわからないんですね。
0:15:55	これって何か、今何か、
0:15:57	口頭でも、説明いただいた上で何かこう記述できないかって、どうですかね、いかがですか。
0:17:02	北海道電力の武田です。この類、ケール言葉としてちょっと不足してございましたので、
0:17:09	記載を充実化というかですね何でここにしたのか、⑪番にしたのかという記載を追記したいと考えます。
0:17:19	理由としてはこのRE7が、今、液状化試験、サンゴ埋戻堂の衛藤液状化試験の下限值付近を通過して、
0:17:32	あそこが須賀層で弱い。
0:17:35	一番液状化強度だったというところですよ。
0:17:38	そのところと同じようなエリアで取水口に近づきながら、下にちょっと掘ってみて、
0:17:48	柱状図としないところですけどもそこで、
0:17:52	ボーリングコア確認して同じような要素というかですねそこで試験をして、そこから採取して、あるイナダを下回るかどうかというところの、
0:18:03	試験を確認するということですのでその辺をちょっと、どうしてここについて一番選んだのかというのを書き出したいと思います。以上です。
0:18:13	はい。江藤規制庁でございます。わかりました。その次に6ページに行っていました、
0:18:21	この6ページの意味合いですかね5ページ目はこういう指摘事項に対する回答ということで、これがある中で6ページっていうのは、特に指摘事項とは関係なく、これだけ何かポンプあるで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:35	7ページに行くと今度なんか施設周りのエリア分けっていうのが示されてで、
0:18:42	何だろう、6ページの、何か位置付けがちょっとごめんなさい、私なんか私の家庭の理解だったと思うんですけどなんか、
0:18:49	7ページのナカエリア分けのために何かこれ補なんかたくさんやるやつをこう、
0:18:54	保管す。
0:18:56	補完的な試験をやるのかなっていう印象で、
0:18:59	思ったんですけど要はこれでいくと何なんですかね。
0:19:02	今のこの事業者の説明だと、相対密度っていうのが、もう代表性確認しようが何かすごい中で買い物になんか、
0:19:11	んな、なってるかのようにちょっと、ちょっと見えたんですけどこれ自殺でしたっけ。
0:21:12	北海道電力のタツザワですちょっとすいません事業者側で協議中でした。
0:21:17	この説明は、3すらの説明項目②と出てきているのは前の時に
0:21:26	せん断波速度 V_s で評価をしますっていうところで、代表性の指標として今三つございまして、流動分布と、
0:21:36	細粒分加入率のFCとAVSって言うんですけどもVSをこの地盤泊の地盤に適用できないんじゃないかというご指摘がありまして、そこで私どもの相対密度に切り換えたと。
0:21:49	で、相対密度の代表性の数、この説明項目②についてはですね、
0:21:55	会合でコメントいただいたものではないんですけども、私たち、FCとでいうと分とはこの範囲に入ってますっていう説明をさせていただいた時に、相対密度がまだ、
0:22:07	代表性の説明できてございませんでしたので、そのところの説明を今後していきますというところを、説明項目②ということで挙げさせていただいてます。
0:22:17	なのでちょっと①がコメント回答③がコメント回答だとすると②だけが浮いてしまってる状態になっておりますけども、ちょっとそういう事情でこの資料構成がなってしまうところになります。
0:22:28	以上です。
0:22:39	規制庁シマちょっと今規制庁ないで、
0:22:42	確認します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:30	規制庁ちょっと今庁内んだと私の中で頭をちょっと整理したところ、要は、6 ページの内容とか7 ページにおいて、エリア分けを、要はなんすか施行の、
0:24:42	いや同じ材料を使ってるけどもその施工の度合いによって何かあれ、強度が違うんだったらそれをきちっと示すためにはその強度としてその相対密度っていうのが使えるのではっていうところから、
0:24:55	いう話がちょっとあったかと思うんでそこら辺ちょっともうちょっと組み立て方ってのは、ご検討された方がいいように思います。いかがすかね。
0:25:05	はい北海道電力の辰田です。すいません先ほどの回答がちょっと不足してございまして今のご指摘の通りで、
0:25:12	7 浦野、相対密度と関連性がある相関があるということを説明する中で、
0:25:25	まず基礎資料として、まず、
0:25:25	相対密度の
0:25:26	話をしなきゃいけないので、
0:25:29	今後の順番、ちょっと修正する順番としては、主んボスらがあって7 面があってそれに、
0:25:39	相対密度の話を、後ろにも関連づけて持ってくるような形で整理させていただきたいと思います。以上です。
0:25:48	はい。衛藤規制庁じゃないです。わかりました。
0:25:51	ちょっと私の方でも続けてちょっと幾つか私の方も確認させていただきたいんですけどもパワポの 25 ページを、
0:25:58	開いていただいでですね、
0:26:02	25 ページのフロー、左の方に書いてあってこれまとめ資料もですけど、
0:26:07	何かちょっとシマ 0 のまとめ資料と比較したときに何かちょっと微妙に、
0:26:12	違ってたりするんで、何でそういう思ったかというところに 15 ページの左のフローっていうのは何か、何だっけ、二股に分かれて分かれた最後かな。
0:26:22	と、左の方で等価一定剪断応力比というのが、L E っていうのがあるんですけども、
0:26:27	これを L E D を使ってタブーなんですかね N E 9 かなその右隣のフロー。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:34	使うんだっただけかな。なんか要はこの右と左のパラレルのやつって いうのは何か、
0:26:41	相互に関係しちゃってるナカ印象もあって、それは島根を見ると、
0:26:45	何かちょっとわかりやすくなって、要は、言いたいのは進まない って、参照されてるんですかっていうのは聞きたかったわけな んですけど。
0:27:00	北海道電力の金子です。こちらのフローの
0:27:05	困っ怪奇細部については今は、
0:27:09	衛藤。
0:27:10	女川と、
0:27:12	ほぼ、
0:27:13	ほぼと全く同じ状態になってまして、ただ、島根で示してる内容 も、
0:27:18	故意としてることはすべて一緒だと思いますただいま。
0:27:22	ちょっと確認しましたらちょっと島根の方が若干詳しく、
0:27:28	フローが一つ一つ多い。
0:27:31	一つ多い。
0:27:36	はい。規制庁シゲマスわかりました。ちなみにですね、島根の見 ると何かこの累積損傷度理論に基づく等価繰り返し回数の評価方 法ってすごい何か、
0:27:46	もうちょっとわかりやすい資料がついてるんですねこれって何 か。
0:27:50	要はちゃんと島根の内容なんか泊でも反映した方がよりわかりや すくなるんじゃないかってちょっと思ったんですけど。
0:28:01	はい。北海道電力金子です。
0:28:04	はい。そうしましたら、ちょっともう少し島根の記載ぶりをちょ っと、
0:28:10	参考にしまして、はいちょっとわかりやすい資料になるように修 正したいと思います。
0:28:15	はい。江藤規制庁です。ちなみにこの 25 ページの右の方で何かグ ラフと自身は形があって、
0:28:25	このスライドちょっと見ながらちょっと対比させてもらってやっ てもらった方がいいんですけど。
0:28:30	この何だかな一番右下の地震は系これは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:34	多分これ泊中江末数の波ではないんですよおそらくこれ地震動のS _s -Dですかね。
0:28:42	25 ページ右下。
0:28:45	江藤泊の実際の、
0:28:48	地震はの1例。
0:28:50	実際のものを示しています。
0:28:53	はい、規制庁フジワラあそうですか。そうしたらこの、
0:28:56	ちょっと、何かちょっと島根のやつを見ながらタモリを見ると、これ何を言ってるかがちょっとわからなかったんで聞くんですけど、この例、恒例一次元地震応答解析結果で青丸と、
0:29:08	赤丸があって赤丸値M A C C Sで青丸、多分閾値を超えるやつでそれは上の方にの例のその解析結果の比較。
0:29:16	この青線と赤線とこれ関係ってあるんですけどたっけ特にんないんですか、何か一緒にちょっと。
0:29:22	関係があるように見えてタダ。
0:29:24	このパートでそこまで細かい話をやるべき必要があるのかっていうのもちょっとよくわからず、
0:29:29	言いたいのはこれあれですよ。ここのページではそもそも言いたいのは、白丸の試験結果右上の、
0:29:37	解析かかると、あと緑丸の、
0:29:41	ちょっと分布が或いは、失礼と後0の範囲内に、赤、青丸が入った緑丸が入ってるから、まあいいんじゃないかと。
0:29:51	それだけが言いたいんですよ。それ以外の情報って、
0:29:54	どこまでここに書くかって、何か、
0:29:57	すごい何か混乱をおっしゃったんですよ。
0:30:10	話だ。
0:30:24	そういうことです。あれ自身はによっては、100回に満たないものもある。
0:30:33	そうですね完全に私はこの25ページにするのはそうなっちゃう。はい。
0:30:38	必要な情報以外の何か。
0:30:41	よくわかんない情報がは、
0:30:43	というのは、
0:30:44	どうなのかなってちょっと思っただけ。
0:30:50	左側のフローの中で出てくる、例えば玉城っていう言葉、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:54	これ左側のフローでしか出てこなかったのっていう、
0:30:57	その差。
0:30:58	僕らは、
0:30:59	その繰り返しは関係ないっていう。
0:31:04	何か一緒にちょっと関係あるような気がしたけど、
0:31:11	なんですけど、言いたいことを、何かもっと目立たせて欲しいんですね、じゃないと何か他の情報に紛れて、
0:31:19	どれを見たらいいんだっていう、
0:31:26	もっと出し白マルと緑までを目指す欲しい。
0:31:31	この、
0:31:33	吹き出しで赤枠の、もちろん何か、
0:31:36	これもっと文字を大きくして欲しい。
0:31:38	すごくわかる。
0:31:40	まあ、
0:31:41	何か。
0:31:42	説明だけ。
0:31:51	ずっとペース、
0:31:55	当北海道電力の金子です。
0:31:57	この 25 ページのスライドを、
0:32:01	ここで一番お示ししたいのは、右上のグラフにおいて試験結果と解析結果の比較をしますというところですので、ちょっと情報が、
0:32:10	ちょっと多すぎてちょっと
0:32:13	ちょっとぼやけてしまう部分もありましたので例えば右下の、
0:32:17	改正結果の例などは、ちょっと削除したいと思います。
0:32:22	はい。以上です。
0:32:25	はい。衛藤規制庁フジワラ、ちなみに、何ですかね、今回の液状化のに関する審査会合というのは、コメント回答も含みなんですけども、
0:32:36	当初の作業スケジュールに予定してた、
0:32:39	っていうのは多分この妥当性確認ですかね、S s との、
0:32:43	戸田層と妥当性確認一応これが、
0:32:46	メインなんですよ。
0:32:49	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:50	んだったら何かうん。ちょっとなんか埋没してるんですよね。もしかしたら冒頭に書いてるのかもしんないすけど。
0:32:57	要は、これが何か積み残しだであって、他は要はついでにコメント回答というのであればもうちょっとそこは合流ご覧いただいた内容になっていればと思います。はい。
0:33:09	あとは26ページに続きまして、
0:33:13	ちょっとんところの実施次元地震応答解析を実施する位置さっきの要はS sによる応答を出したいということで、埋め戻し塗装圧が最大化平均を、
0:33:25	選びましたと。
0:33:27	これはちょっともうちょっと何かロジックをきちっと書いて欲しいんですね。何でっていうところが、
0:33:33	多分最大だと、地震応答が大きくなるから、
0:33:36	だと思っうんですね。
0:33:38	平均ってこれ一あんま先行で、これなんかあんまり私ちょっと調べた限りだと見当たらなくて平均ってこれ目的なんでしたっけ。
0:33:46	平均厚さの場所でやること。
0:33:54	北海道電力の兼子です。藤。
0:33:58	須藤。
0:33:59	他社も、例えば女川も平均と最大厚さ、
0:34:06	スポーツ、規制庁ですか、どこかのサイトウがどうだっていう話は、私からの審査から感覚すれば無関係なんで、
0:34:13	ここのサイドで含めたときにどういうプロセスってどういうようなコンセンサスで考えてるかっていうのを説明しなきゃいけないで、
0:34:20	うん、どこが一緒だからってことはない。
0:34:24	厳しいこと言うんですこういうもんってのは迫です。
0:34:28	それと最大せん断応力の繰り返し回数とある程度あれだけの機能、ほとんど、
0:34:33	地盤の特性というか地震特性だから基準地震動のさ、もともと0クロッシング関係してきちゃうから、
0:34:40	ソネ度合い回数ってのはそこで決まっちゃうから、あんまり関係なくて、
0:34:45	基本的にはこの最大せん断力だ、出そうとしてるわけだよな大体。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:50	最大せん断力としてどのぐらいのものが出てくるのかこのサイトとして、
0:34:54	その時考えたときに、
0:34:57	一つは地盤の表層地盤としてのこういう周期1周地盤なのか20万でさ、30万なのかというような概念と一緒にですね。
0:35:06	そういった概念でいったときにどのぐらいの応答を示すのかあと、せん断応力ですから、地表面から、表層の方まで、Mの方までですねそこまで結局、
0:35:18	重さの重量、具体的重量掛けるKHっていうその震度文化、
0:35:25	地表面から深さに向けて参照されていくわけでしょう。だから深さが深いほど、せん断応力大きくなるんだよね。
0:35:33	そういう観点で、このサイトの特徴として何をどう押さえれば、その特徴と平均的な押さえられるんですかっていうことを説明してくれないといけないんで、他のサイトがどうこうなんて関係ないんです。
0:35:45	植田さんも違うしさ、周期も違うわけでしょ、ステージが違うから。
0:35:50	うん。それちゃんと説明してください。
0:35:52	はい。北海道電力の金子です。衛藤。
0:35:56	このケースとしてまず、最大と、あと平均。
0:36:00	と、
0:36:01	あと、
0:36:03	逆に言うと最最小というか埋め戻し層厚が薄い場合っていうのも、
0:36:08	等地盤の状態を、あらゆる地盤の状態を網羅する上で、
0:36:13	その最初層厚っていうのも検討した方がいいんじゃないかと思う。
0:36:17	思ったんですけども、
0:36:19	と。
0:36:40	はい。衛藤平蔵燃料兼子です。一番、ちょっとせん断応力大きくなりうると、想定される最大層厚と、
0:36:51	へんと平均厚さその
0:36:55	影響、影響確認。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:42	これ北海道電力の諸戸です。埋め戻しの層厚が一番厚くなればせん断応力も大きくなるのでまず最大の深さをやってるということです。それと平均については後、
0:37:54	最大、
0:37:55	自分と敷地の平均的な厚さではどうなるかということでも、確認してるのとあと三浦さんからありますけども水平成層という考え方もありますので、平均的な差をやって影響を見ているというような考えでございます。それらがわかるような記載に修正したいと思います以上です。
0:38:17	はい規制庁藤です。わかりました。陳情 26 ページのこの
0:38:21	図の右に米印で振ってある、平均層厚っていうのは敷地の、
0:38:28	あれですかね、へ全体的な平面セキを、ここで書かれていると。それに対して、割り算で平均さうださうさういう理解で、
0:38:38	ナガタ湿気。
0:38:40	はい。北海道電力金子です。はい。藤尾さんのおっしゃる通りで認識間違いありません。
0:38:46	はい。わかりました。
0:38:48	ちいと次に行きまして 27 ページの方なんですけどもこれ、
0:38:53	1次元を次元案 1次元地震応答解析は、これは何か、地下水が通常これまで T P 中で説明されたところですけど T P 0.2 を超え、
0:39:05	表記だ形、何か誤りですかね。
0:39:09	なんか大体 T P G 実際これイコール解析やってるわけじゃない。
0:40:13	はい、北海道電力の辰田です 27 スライドの各断面に、儘田目ではもう解析モデルに 0。
0:40:22	T P P 0.26 という
0:40:25	地下水位表示してございましたけども、
0:40:28	こちらについて資料採取時のということとちょっとそっちに合わせた思い出下りましたので今後今回の検証するケースは解析野瀬 T V 10 メーターに地下水を設置しますので、
0:40:40	そちらの方に變更して、記載の變更と計算の變更とさせていただこうと思います以上です。
0:40:48	はい。宇都規制庁部長。
0:40:50	はい。続きましてちょっとまとめ資料の資料 1-2 の方の、64 ページをちょっと開いていただいて、
0:40:57	てもらっていいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:59	まとめの 64 ページですね。
0:41:02	まとめの 64 ページこれはですね議場化強度試験の結果と東京毒性の設定ということで、実際の埋め戻しの試験っていうのが真ん中の方で、
0:41:14	いろいろ書いてあってちょっと確認したいのはこの圧密圧力っていうところの記載の話ですね。
0:41:20	200、要は
0:41:23	どっから持ってきたその試験っていうのは、まず蜂蜜圧力 200 kPa、
0:41:29	済まそうだと何かこれ、要は、平均、資料最終進路有効上載圧として考慮するんだけど、埋め戻しは 200 で、もう一律設定しますよというのがまず一つで、
0:41:40	これに対して大体、
0:41:43	埋戻土はその平均的な層厚があって圧力が大体 200 ぐらいだっているのがここで書かれてるんだと理解しています。要はウエダ氏については、
0:41:55	試験ごとのそういう向上された、作ってないと。で、そこでちょっと確認なんですけども記載だけかもしれないですけど、埋め戻し炉の 5 歳圧密圧力の上の 1 行目の後半ですね。
0:42:07	埋め戻しの層厚約 10 メーター。
0:42:11	ていうふうに書かれるとちょっと何か一部の過ただと。
0:42:15	そうなんだこれ、10 メーターなんだってちょっと思われてしまうような、実際これ地表面 TP10 って書いてあるから、実際わあ後もうちょっと、
0:42:24	実際の曾田深井だっているのは当然わかるし、断面図をまあ、大体 20 メーターぐらいかなっていうのはわかるんですけど。
0:42:31	なんすけどちょっと何か文章をちょっと、ぎゅっと、何か改善した方がいいのか、例えば、
0:42:37	N、埋戻し例えば埋め戻しの平均層厚 20 メーターに対して、多分シンボですよ 10 約 10 メーターっていうのは、
0:42:47	地表面関心度が約 10 メーターで、
0:42:51	何かそういう意味じゃなかったでしたっけね。
0:42:54	地下水はこれ 0.26。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:58	ごめんなさい。何が言いたいかというと、埋戻しがあたかもナカ育つ10メートルしかないんですよって、ちょっと見えてしまうのが、
0:43:07	もっと言うと
0:43:10	いや平均、さっきの話に近いんですけど、平均の圧力要はこれ下で仕分けする200kPaって、仮定しちゃったらやっぱ、包丁で近傍の20メートルの
0:43:22	中間の深度を、試験の圧力として用いたっていうふうにロジックをしない、よりわかりやすくした方がいいんだということです。伝えてますかね。
0:43:46	自分の方から。
0:43:58	北海道電力の兼子です。藤。
0:44:01	この上、この10メートルの総額約10メートルという記載だと、上本志田の層厚が10メートルのように、ちょっと誤認する可能性もありますので、
0:44:12	と。
0:44:14	実際はこの
0:44:16	島液状化強度試験の行政を取った位置というのが地下水付近、
0:44:20	ですので、
0:44:22	町不明TP中からその地下水付近までの、
0:44:25	新最終深度が110名という、
0:44:28	深度が10メートルということなので、そこを間んと誤解生まないように、ちょっと記載の適正化をしたいと思います。
0:46:57	奥野金子です。この100kPaの設定した理由、これをもうちょっと本当、施設の評価における保守性の観点についての記載ぶりと記載2なるように修正したいと思います。
0:47:13	はい。規制庁藤です。土佐、私の方からもう1点だけ同じまとめ資料の96ページのですね、
0:47:19	この表っていうのが、さっきパワポで1年ほどカセキ-
0:47:27	のあれですかね。
0:47:29	によってその等価繰り返し回数を出すときのこの表になっていて、ちょっとマス毎度の比較をし、したりとか或いは
0:47:37	表のタイトルですね1次元応答解析による等価一定剪断力、これ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:43	多分最大のっていうふうにつけた方が何となくですけどこれ、各地震動の中で、とか受給できた椎野土佐井田一井でやってるのかなと一緒にちょっと思ったんですけど。
0:47:58	だったらどこ最大のとかつけた方が、
0:48:01	今、何をやってるかもうちちょっとわかりやすい。
0:48:04	ようにした方が、
0:48:31	それが多い。
0:48:34	北海道電力の金子です。
0:48:36	藤。
0:48:38	この1次元事情と解析による等価一定剪断応力を記載しているんですけどもこれ、最大せん断応力、
0:48:44	頭、
0:48:46	どうしても、
0:48:49	はい。それ、どう。
0:48:56	阿曾そうですね。
0:48:57	その記載の方が適正だと思いますので、最大せん断応力と等価繰返し回数というふうに記載を改めたいと思います。
0:49:39	北海道電力の辰田でちょっと事業者側で確認させてください。
0:54:45	江藤北海道電力の立田です。衛藤先ほどいただいてた旧透明資料とか資料1-2の96ページのこの表のタイトルからちょっと、
0:54:56	正確じゃない部分がありましたので、結局92ページにあるフロー。
0:55:05	の言葉。
0:55:07	等、あと、結果として示してます、98ページ目のこの、
0:55:13	色つきのこの00のところだけ見て欲しいんですけど丸白丸が液状化試験後、色つきの方が
0:55:22	SS解析というかアノで発生したものですので、その辺の表現がちょっと当フローとこのグラフと、
0:55:33	表がちょっと統一になるように
0:55:37	説明をさせて、修正したいと思います。
0:58:27	北海道電力の辰田です事業者側でちょっと確認させていただきました。
0:58:32	今説明させていただいた内容で92ページからのフローの流れと、
0:58:40	ちょっと頭カ一繰返し処理の仕方が93ページということですからちょっとその過程、それを前提に、グラフができてますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:52	その辺の処理の仕方、どういうふうに数字が導かれてるかというところをちょっと丁寧に、補足をさせて追加させていただきたいと思います以上です。
0:59:04	はい。江藤規制庁藤間です。ちなみにパワポの25ページに戻っていただいていますよ。
0:59:10	臼井呉様はそういった流れが25ページのこの専門用語。だらだらと書いて、しかもなんかフローこうします。要は、もうちょっとわかりやすく、
0:59:22	していただきたいなと思ってて、例えば福士確かに二つ目のマルで不規則である、SSによってとか、いうふうなのは、不規則じゃない規則なのは何かと思う。試験ですよ。
0:59:34	だから、ちゃんと物事対比さして欲しいんですね。不規則規則的なあれと不規則なこれで、それに対してどういうふうな処理、例えばさっきの0.65。
0:59:44	をかけるとかいうところもちゃんとあいまって、じゃあそれですよやく比較の土俵に上がりますよ。それが、要はばらつきの分布がこういうふうなですよっていうそのロジックが、
0:59:56	本来はパワポで示して、あと細かい内容はまとめてちゃんとやっていただけたら、もっとよりよいと思われます。いかがですかね。
1:00:05	はい。北海道電力立田です。衛藤。今ご指摘の25、資料1-1の25すらのふた丸めですね。
1:00:13	こちら沼津市木曾区川路新時代の地震動ですので、液状化作家試験は正規派でやってますので、その辺の
1:00:24	ちょっとここだけ読めば、どう処理しているのか、人をやって比較をする。
1:00:29	と対象に並べて比較がちゃんとできる手数のだから妥当なんですというところを、読めばわかるような表現でちょっと修正をさせていただきます。以上です。
1:01:32	はい。
1:01:33	規制庁の谷口です。
1:01:38	ちょっとは、
1:01:39	内容は飛びますけれども、
1:01:44	液状化影響の検討の方針について、
1:01:47	1-1の30ページ目のところに書いてある、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:52	液状化影響の検討方針って書いてあるんですけど、
1:01:56	この検討方針については、
1:02:00	設置許可の段階と、
1:02:03	施工人設工認の段階等では、こうやって違うんだって書いてあるんですけど、
1:02:08	その左側のところに書いてある。
1:02:11	試料採取位置の代表性、それから設定方針、
1:02:16	それから解析手法っていうところに書いてある。
1:02:19	この項目は、
1:02:22	何を意味してますか。
1:02:24	具体的に例えば設置許可の段階でこの辺の代表性が説明できないから、
1:02:31	保守的に許可の方ではこうします。
1:02:35	開設工認ではこうしますっていうことを言いたいためにこれ代表性って書いてあるんですか。
1:02:43	北海道電力の兼子です。こちらの土台票数資料最終社代表性ですとか、強度特性の設定方針、
1:02:51	耐震評価解析法、
1:02:53	は、この
1:02:55	以上カノウ。
1:02:58	検討。
1:03:01	当評価検討フローの中で、
1:03:03	これは設置許可でも設工認でも、
1:03:07	統一的に、
1:03:09	と。
1:03:10	設置許可でも、
1:03:12	法代表性確認っていうのを実施しますし、
1:03:15	それは、設工認段階でも、
1:03:18	追加調査を、結果を踏まえた上で、また同じく代表性を示すということをしていきますので、
1:03:25	ここ等、許可の無効にもどちらにもかかっている検討項目。
1:03:31	そして一番左に、
1:03:32	記載しております。うん。やっぱ奪い合うとしてるのは、許可の段階と、設工認の段階で、評価の仕方が
1:03:44	違ってくるわけですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:46	それは当然まだ追加の試験もやってないし、女性の部分についても確定できてないから、保守的に許可の段階では、これでやります。
1:03:57	ていう言い方になってるんじゃないかなと思ってるんだけど。
1:04:01	当然代表性っていう項目で同じだけど、
1:04:05	許可の段階と設工認の段階で違うんだ。
1:04:09	何が足りないからそうしてるんだっていうことが説明してるんじゃないかなと思ってるんだけど、
1:04:16	それは何となく、まとめ資料1-2-2-2ですか。
1:04:22	1-2の資料のところの104ページに、104ページ目のところに行くと、
1:04:27	何となくそれが読めるようなことは書いてあるんだけど、やっぱり、パワポのこの一覧表に行くまでの経緯が、
1:04:37	104ページ目のところでもやっぱり説明はタダは、やっぱりわかりにくいんですね。ただ書いてあるのは、保守的にやるってやるってみんな保守的保守的って書いてあるんだけど、
1:04:47	なぜ保守的しないといけないのかっていう説明があんまり、
1:04:53	仕掛けてないのは書けてないように思われるので、その辺をもう少しこの104ページ目を置き、まとめ資料の方をきっちり作っていただいた上で、
1:05:03	このパワポがこうなってるんだと、いうふうに私は思うんだけど、
1:05:07	このパワポの資料が先行して作ってるので、どうもまとめ資料と、何となくニュアンスが違ってきてるように思うんだけどそんなことはないですか。
1:05:20	北海道電力の立田ですご指摘は
1:05:24	設置許可段階でのこの一行目の代表性を示せないっていう言葉、
1:05:30	かなと思いますけれども、
1:05:32	この液状化の資料は、まとめ資料から作ってございますので、ちょっとそんなことはないんですけどパワーポイントを書いた時に、この表現が出てきてしまってますので実際は、
1:05:43	まずは追加した試験液状化試験が構造物周りでまだ仕上がってできてないというところなんでそれは工認で議論させてくださいと、今あるデータは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:53	ちょっとあまり定性的な表現になるかもしれませんが、海側でやって表、割と比較的に、
1:06:02	液状化強度が小さいものが出てるのでそれを保守的に、設置許可段階では使わせてくださいというちょっとそんな表現にさせていただこうと思いますので、よろしく願います。そうだと思うので、特に、
1:06:14	104 ページ目のところが、最初の元ネタとと思うので、
1:06:19	前段のところは、これは何も書いてないけど、許可の段階ではこうします。
1:06:24	と書いてないので、許可の段階ではこういう形でこういうことがまだ明らかでないから、保守的にこうします。
1:06:32	設工認の段階では、追加がこういうことやってるから、これをこういうふうにやってやりますっていう書き方だと思うので、そういったところがよくわかるように、やっぱり説明しておかないと、
1:06:45	なぜこう変えていくのかって書いているのかってことは、やっぱり説明できてないように思うので、それをやっぱり、まとめ資料にきっちり書いた上で、
1:06:55	それを読んだ人が安保見てこうなんだってわかるんじゃないかなと思うので、ぜひその辺の書き方をもう少し、
1:07:04	充実させていただければと思いますけど。
1:07:07	はい。北海道電力の辰田です。衛藤アマノご指摘、その通りだ。ですので、不足する許可段階でまだ示せない液状化強度については工認段階で議論させていただきたいというところはその通りです。
1:07:23	ですのでまとめ資料と、あとパワーポイントの方も修正そのようにさせていただきます。以上です。
1:07:30	願います。
1:07:31	それから後、これは誤字なのかよくわからないんですけども、同じページ 104 ページのところの、
1:07:42	後段の設工認のところに、
1:07:45	施設の場合、耐震評価に用いる風の方法は、液状化の検討対象施設の選定及び解析手法選定のフローって書いてあるんだけども、
1:07:57	これは選定じゃなくって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:01	抽出じゃないんですか。
1:08:06	前段の、
1:08:07	対象施設の方は主抽出して、
1:08:11	解析上は選定する。
1:08:14	ということでもいいんですか。
1:08:16	はい。北海道電力の金子です。申し訳ありません。こちらは液状化検討対象施設の抽出及び解析手法選定フロー。
1:08:24	が、正しいので、修正いたします。はい。それでこの0の文書、言葉の使い方はパワーポの方も、
1:08:33	違ってるので、パワーポイントの方も、施設は抽出した上で、
1:08:39	手法を選定するって形で、
1:08:42	一応見直してください。
1:08:45	井戸電力金子です。はいパワーポイントも併せて修正したいと思います。はい。よろしくお願いします。以上です。
1:09:01	はい。規制庁中澤です。
1:09:03	最初に簡単なイシイル1-1の3ページ目に、
1:09:08	突然ですね。
1:09:10	説明項目①に、
1:09:13	の記載の追加調査。
1:09:16	広報10111って、これ急に出てくるんですけど、これって5ページ見ないとわかんないんですね。
1:09:25	だから、
1:09:26	この
1:09:28	追加調査。
1:09:29	111とか、①については5ページを見てください。
1:09:34	最初のベースにないとわからないんでそれは注意書きでしてください。
1:09:40	はい。
1:09:41	よろしくお願いします。はい。北海道電力安楽です。はい、P3のPay Pay3ページ目のこちら調整地①とか⑪については、
1:09:51	平面図で5ページ目に示しておりますので、5ページ目にそれを示しているということわかるようにここで注記したいと思います。はい。よろしくお願いします。
1:10:01	引き続き中房ですけど資料1-1の
1:10:05	例えば6ページとか10ページから6ページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:10	丸の一つ目の丸で、最小最大密度試験を追加した上に相対密度と、
1:10:19	液状化強度の関係相関分析を行うと言うんですけど、
1:10:25	これって具体的にどうすんのかなと思ひまして、前にも言ったんですけど、
1:10:30	できの試験、
1:10:32	は、
1:10:33	結構難しい、利益の相対密度は難しいと。
1:10:36	特にでかいれき材が入ったらどうなんだと。
1:10:40	それは液状化できて的含む液状化試験もやってるんで、
1:10:47	その時に井関を除いたとかいろんなもし工夫してるんだったら、同様な形で相対水試験もやらないと。
1:10:57	合わないんじゃないかと思ってるんですけど、そこら辺はどう考えてるんでしょうかっていう質問です。
1:11:05	はい。北海道電力の金子です。
1:11:08	藤。
1:11:09	最少最大密度試験については、
1:11:11	どうもレジの最少最大密度試験、
1:11:15	の方法にのっとして、
1:11:17	最大粒径を 37.5 ミリに粒度調整した上で、
1:11:22	試験を実施しています。
1:11:25	ただ、市岡支店の方は、藤ファイアさ、100、もしくは 300、
1:11:33	この両試験でちょっと最大粒径に、
1:11:36	大きな差が、
1:11:38	ありますので、
1:11:40	この影響というのもちょっと見えています。衛藤。
1:11:43	両支店で余りにもコウ龍んと最大粒径に差があるような場合は、
1:11:49	この相関分析のに用いるデータとしては、ちょっと使わないですとか、そういった、
1:11:55	検討をしています。
1:12:00	今言われたように、液位の相対密度の、
1:12:04	と本村は難しいというのと液状化試験とのバランスが取れないんで、多分バランス取れないままやったら相関性なんか無いんで、
1:12:14	そこら辺はよく考えて、そうやってみてください。
1:12:18	ちなみに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:21	一番今回の基準、
1:12:23	別記の最初最大水試験では、
1:12:26	30分、53mmのふるいを追加し、ミリ以上のれきを含む、
1:12:33	75ミクロン以下、
1:12:35	D90%以上を残留するやつを利益と。
1:12:39	いう形でやってますんでそれと、それにやろうと思ったら多分合わないと思うんで、そこら辺も、
1:12:46	ある基準を使って、
1:12:48	作ってやらないややるような工夫が必要だと思いますんで、
1:12:53	検討小の方、よろしくお願ひしたいと思います。また検討結果をわかったらお知らせください。以上です。
1:13:01	衛藤電力です。はい。今ご指摘いただいた点を考慮して、
1:13:07	相関分析を今後行って参りますので、
1:13:11	その結果について、出次第にその結果出次第、改めてご説明させていただきます。
1:13:18	気づき、ナカ長田手数料1の、
1:13:21	2-50ページ。
1:13:25	2、これも記載だけの話なんですけど、
1:13:30	名もどう指導の代表性っていうことで4ポツ3ポツ1に書いてあってその下に今戻し動については建設時に発生した眼科、
1:13:41	眼科医が主体であると、部、志免鏡管理下に管理して施工した地盤であるということ、どのように締固め管理したのか。
1:13:52	これまとめ資料なんで書いといてください。
1:13:54	どのように締固め管理したのかっていうのは、
1:13:59	事椎野ですね、6月15日の
1:14:03	d B04。
1:14:06	Rの3ポツ21。
1:14:09	6月15日の劇場試験の中に、
1:14:14	書いてあります。例えば、
1:14:16	12号の埋戻しどの取放水設備のは、新藤ローターが4.5からT模出し厚が30センチで、
1:14:28	転圧回数が60回以上とか、細かく書いてあるんで、
1:14:32	これもちゃんと記載しておいてください。よろしいでしょうか。
1:14:37	北海道電力金子です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:38	藤。こちらの締固めの仕様ですね、これ、こちらの6月15日のヒアリング資料での添付資料で、詳細書いてございますので、
1:14:48	こちらまとめ資料の本文のこの50ページの方に、詳細追記したいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。
1:14:58	私から最後で、資料1-2の、
1:15:02	104ページ。
1:15:04	2、
1:15:05	6ポツで液状化の
1:15:08	影響検討方針で、
1:15:11	上から、
1:15:14	ポツの上から二つ目で、
1:15:16	設置許可段階におけるもの同士の代表性確認終了では、
1:15:22	粒度分布及び細粒分還流率を用いるって書いてあるんですけど、これなぜ相対水しないんでしょうか。といいますのは、コアの中で、
1:15:33	埋め戻し道路のコアとってありますよね。
1:15:37	相対密度、いわゆる、
1:15:40	密度っていうか、いわゆる最小密度とか最大水はどっちみちコア生み出したシールを使うんで、コアの試料を使えばできるはずなんですよ。
1:15:51	それをわざわざ、せっかくこうあるのにやらないという理由がわからなくて、なおかつ液状化試験も近くでやってるはずなんで、
1:16:01	今の段階でわかると思うんですけど、何でしないんでしょうか。
1:16:05	そっくセス購入まで待つ必要はないと思うんですが、この点はいかがでしょうか。
1:16:25	事業者内でちょっと確認いたします。
1:17:16	はい、北海道電力の金子です。
1:17:20	藤。
1:17:21	相対ミント最初最大密度試験から求まる相対密度を、
1:17:25	については、許可の時点で、次回のヒアリングで、その結果をすべてお示しできますので、
1:17:37	こちらを駿東504ページ。
1:17:40	の記載に、
1:17:42	相対密度、
1:17:44	を用いると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:46	追加することは出てきますので、
1:17:51	こちら修正したいと思います。
1:17:54	よろしく申し上げます無理してやれってことじゃなくて、もうここは資料があるんだったら、
1:18:00	もう全然できるしどっちみち見出テロ感想とか、根井ツカベやるんだから、その資料で十分だと思うんで。
1:18:08	やれるところは全部やっという方がよろしいかと思います。
1:18:12	ではよろしく申し上げます。私からは以上です。
1:18:21	ホッカン、規制庁側から、会議室の方で何か確認等ございますでしょうか。
1:18:32	手帳のミウラです。
1:18:34	ちょっと先ほどちょっと資料1-6のご説明ちょっとされてました大澤さんの方でね。
1:18:39	液状化とは関係ないんですが少し気になったことでちょっと聞きます。
1:18:45	これ、
1:18:46	液状化上の部分はもう梅津白倉議長から考えなくていいってのはそれでいいんですけど、
1:18:52	これ、躯体のチェックをするときに、浮力を、
1:18:56	TP2からTP8.8万だから6.6.8分見なきゃいけないですよね。
1:19:02	応力解析の段階で、
1:19:04	それは浮き上がりは大丈夫ですか。
1:19:08	北海道電力の大澤です。今応力解析上はおっしゃる通り地表面に地下水見た形で動圧等を計算して、考慮する。
1:19:17	計算をする予定ですので、浮力につきましては基本的にこの基礎分の、まず建屋躯体部の自重に対して上向きにかかる力になりますんでそこはちょっと相殺する形でむしろ考慮する。
1:19:29	しない方が保守的な評価もできるかなというふうにも考えておりました、今現時点では浮力を入れない形での評価になるかなと。これを浮力入れなきゃ駄目よ。すいませんフルタ方が厳しくなるから、あ、失礼しました。
1:19:45	公認で改めてちょっとご説明させていただく予定ですけども浮力も考慮した形の計算結果も確認いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:51	ちょっと気になったのは、多分音のばっくうの側面ばねかなり硬いんであまりにせん断力入力してこないんじゃないかなと思うんで、大丈夫かなと思ったんだけど、ここまで違う浮力を考えちゃうと結構浮き上がりは厳しいかもしれない。
1:20:05	ちょっとその辺ところを確認をしておいてください。
1:20:09	はい、ありがとうございます。
1:20:14	そうですけど、今、
1:20:17	同じ資料の1-6で、
1:20:19	梅本首藤、ナカジョウ時のドアツ、正静圧かける方が液状化したやつより大きいみたいなのを、何か、
1:20:30	おっしゃってたような気がするんですけど本当ですか。
1:20:33	いわゆる完全液状化したら、1.8が2、1.9ぐらいになってなおかつどう。
1:20:40	動水圧も加わるんで、ちゃんと計算の上で比較して結果を示してください。多分構造的にはもつんですけど、
1:20:48	必ず、どっちが安全かっていう話は、ちゃんと計算で比較した上で、お示してください。以上です。
1:20:58	はい北海道電力の大澤です。今、そうですねここを記載したのはちょっと弱の方でも、そういった
1:21:06	基本的に動圧計算する上で応答解析による手法ですとかその簡便法として静的にやる方法というのがある中で、比較的簡便法は保守的な数値になってますというところのちょっと研究されてる部分ございましたんで、
1:21:18	ちょっとそういったところも掘り所に、基本的に我々はそういうふうに考えてますというところと、ここでも記載している通り、かつ、ここは層としてずっとこう、埋め戻しがあるわけではなくてあくまでこの閉断面図でお示しさせていただいた通り非常に
1:21:31	局所的にといいますか、部分的にある。
1:21:35	埋め戻しがあってその一部だけが、埋め戻しする可能性があるというところですので、この液状化による影響についてちょっと小定量的な、
1:21:45	答えになってないのかもしれないですけども、比較的小さいであろうということはいえるのかなっていうところからちょっとそういった整理をしておりますというところでちょっとここ、個別に液状化、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:57	なのでここ
1:21:58	そうですね。劇場解析をする予定ではなかったんですけど今ちょっと、最後このなお書きでも記載させていただきました通り、同様な臭い構造でありますB I b津野トレンチの方ですね、こちらの方は屋外重要土木構造物として液状化高齢者解析、
1:22:14	をするということになりますのでそちらの方で最終的にはその影響も妥当性も確認できるかなというふうに考えております。若狭です。
1:22:23	アノが充足構造物は
1:22:26	デイ・シイ加来SSで持つようにちゃんと配筋もしてますし、壁厚も厚いんですけどこれ壁厚そんな厚くないですよ。
1:22:34	いやだから、単純に、
1:22:37	液状化度圧とドアツを比較して、その差がないとか、そういう数値的にやってくれて言ってるんで、言葉で言うより、
1:22:47	計算で出してもらった方が動圧の比較で出してもらった方が、
1:22:51	軽いと思うんですねその割合を見れば大体そんな大差がなきゃね。
1:22:58	弱の言う通りかもしれないし、そこら辺をチェックしてくれと言ってるんで、それをチェックしないみたいような言い方なんでしょうかっていうことなんですけど。はい。北海道電力の笹野所長そこ、
1:23:09	最終的に記録を考慮した形でのトダテの確認、
1:23:14	評価というのがその土木構造物のトレンチ側で行われますので、ちょっとその数値も踏まえてこの今申し上げた方、その傾向が間違いないかっていうところを、
1:23:24	確認したいなというふうに考えて、定量的なところとしてはその数値を踏まえて参考にしておいてちょっと確認をしたいなというふうに考えております。はい。何か、概略は土木側で出すやつ見るんですけど、
1:23:37	もし差が大きかったら壁厚が違うんで、そこら辺も所チェックしてくださいね。はい。ありがとうございます北海道電力の笹です。今ちょっと現時点で確認した範囲でいきますとこのトレンチ今の、
1:23:47	図の方ですね400mmというふうに記載させていただいてますがこれ土木構造物トレンチも同じ厚さになっておりますのでそこ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	躯体配筋も含めて構造的には同断面であるというところの確認までは
1:23:59	しているところでございます。以上です。
1:24:02	わかりました。はい。
1:24:04	ロードセルっていうことに特化、うん。
1:24:16	はい、北海道電力の大澤です。はい。今ちょっと考え方はこの資料1-6に記載させていただいた通り、ですけれども、その定量的な評価結果っていうところはですねこの
1:24:29	土木構造物の方と基本的に躯体断面アンドウ断面なってますので、この土木構造物の評価結果も踏まえた形でこちらの方の評価結果の妥当性というのを改めて、工認段階で確認したいと思いません。以上です。
1:24:42	だったら、これに少し土木構造物も、
1:24:46	踏まえてやる。
1:24:48	うん。
1:24:50	これ土木構造、そうそう。
1:24:52	うん。
1:24:55	はい。他電力代タンク室自体は建屋、建物構築物というところで、はい。
1:25:03	はい。参考にしてってこれ書いてないんで、ちょっと追記してもらえばと思います。そこに次に参考にしてチェックするということ。はい。
1:25:13	はい。他大学の長田荒戸、ちょっとこのなお書きのところも含めては、書き方はい。少し、今いただいた話を踏まえてちょっと更新したいと思いません。
1:25:54	今規制庁内で調整、打ち合わせ中で少々お待ちください。
1:28:29	はい。規制庁の前の打ち合わせが終わりました藤原です。そしたら当会議、
1:28:36	WEB参加の方も含めて、液状化について何か確認等ございますでしょうか。
1:28:46	はい。多分そうなんで今日のコメン確認。
1:28:50	コメントの確認リスト、資料1年に基づいて、等量か継続かというのを確認したいと思いません。お手元に資料1-4を準備してください。
1:29:02	ではナンバー16の方ですかね、4ページ目になりますけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:08	こちらの方については良ということで、藤鷲見とします。
1:29:13	その次の 25 番。
1:29:16	については、一応、埋め戻したと、範囲と。
1:29:23	さっき説明があった通りですけど、これ、
1:29:26	谷口さんでよろしいですかねこれ。
1:29:36	はい。藤原ですこれ 25 万年は了とさせていただきたいと思いますが、あと、今日出た設工認でいろいろ確認ができるものについては今後確認いただくようお願いします。
1:29:47	次、27 番についてはこれも塗料とさせていただきます。
1:29:53	その次に 19 番について、
1:30:31	はい、じゃあ 29 番量としたいと思います。四つ 30 番。
1:30:36	これは、
1:30:39	規制庁の江寄ですか、30 番は一応私のコメントで、
1:30:43	概ね量にしようと思って言うか、
1:30:46	始めるようにするのかなと思ったんだよね。何か言ってるかわかんねえかなって。
1:30:51	7、パワポ、適正化してください。
1:30:55	それでもって量ということで、まとめ資料。
1:30:58	読むとわかるんだけど、
1:31:01	あっぷあっぷがよくわかんないね。何っていうか、一つ目の丸のところ、例えば、塚と案内で多分、
1:31:08	うん。
1:31:09	例えば、
1:31:12	106 ページから 106 ページと 107 ページの関係があって、
1:31:16	106 ページの、
1:31:18	一番下の行下のところで、大城のエリア分けの検討方針の各案ってあって、その二つ目のポツのところ、
1:31:28	に書いてあるように、
1:31:30	いわゆる取水放水設備、
1:31:34	小水
1:31:36	ん設備工事によって、
1:31:39	ブース仕様が規定されたエリアっていうのは何なのかっていう図を入れてくれないと、
1:31:45	図示してるように、わかんないすねパフォーマンス。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:48	なんでこの辺がわかるようにしてもらおうとそれ以外っていうと、この意味いってる部分で、いわゆるそれぞれが細分化。
1:31:56	1号機、
1:31:58	3号経理はそれぞれまず細分化しようというのがわかってて、
1:32:01	じゃないとこの辺がよく、何言ってるかわかんないと。
1:32:06	さっきの回答。
1:32:08	になってないんで、それとできれば108ページの、
1:32:15	添付9-1表、
1:32:20	裏裏のページだね。
1:32:22	最後のページまとめ資料の108ページですね。うん。
1:32:26	この表も入れてもらおうと、何か全部、
1:32:28	全体何しようとしてるのかよくわかると思うので、
1:32:31	ちょっとね、説明足らずかなという気がするんで、
1:32:34	できればその図表も入れて、
1:32:36	糸井と愛してるのがわかるよう次。
1:32:40	していただければと思うんですよね。
1:32:42	よろしいでしょうか。
1:32:46	はい。北海道電力の立田ですとこのコメント票に書いた回答ではちょっとわからないのでちょっとワーポイントの修正をします。
1:32:55	ポイントには、フローしか書いてませんので、選り分けの取放水設備の図と、
1:33:02	今の108ページのこの表、これちょっと組み合わせて修正して、修正してこれ言ってることと対応してないと思うんだよね。例えば、
1:33:16	いう訳の可能性を、について説明することって言ってるんで、その通知は選り分けでエリア分けはどのようにして、できるのかっていうのを聞いているわけです。それさそっちの答えはできるかどうかは別として選り分けを。
1:33:28	相対密度で行うができない、できなければ選り分けなどせずに、保守的な液状強度の下限値を適用するとそれが答え、答えなんですよね、最終的な。
1:33:40	そうだそうであればそう書いていただいていたいたくのがいいかなと思いますので、回答はもう、はい。実際に即した書き方にしてください。よろしくお願いします。はい。北海道電力ですと適正化しますとまずパワーポイントをしっかり書きます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:54	以上です。
1:33:57	はい。規制庁市原ですそれはちょっと今日のコメント内容について1頭、整理をしますのでちょっと一旦ちょっと中断、文字起こしは中断します。
1:34:07	はい。規制庁フジワラそれでは本日の事実確認事項について整理しましたので読み上げます。歴が混在してる最初、最大密度試験と、
1:34:18	液状化試験との相関分析については、基準吳の考え方がたは、次へと中、試験の基準ですかね、の考え方を整理して、
1:34:29	今後説明をしてください。次回ヒアリングで多分回答があると思いますけど、
1:34:33	その次へと次液状化を考慮した場合に比べて、静的な評価が保守的であることについてっていうのは資料1-6でありましたけども、なお書きにあるような定量的な
1:34:44	結果を踏まえて室工認段階で説明することということで設工認の申し送りとして一応残しますが、一応、許可段階で一応申し送りという形でさせていただきます。
1:34:55	以上ということで何か北海道電力、或いは規制庁から何か確認ございますか。
1:35:06	北海道電力の辰田です特にございません。
1:35:09	はい。そしたらまず前半の液状化に関するヒアリングは以上とさせていただきますして、15分ぐらいちょっと休憩を挟みたいと思います。
1:35:29	規制庁フジイアベそれでは泊発電所3号炉のヒアリングを再開したいと思います。
1:35:43	規制庁秋本です。今日は、ここは
1:35:47	等、可搬型、保管場所とですねアクセスルートについてやりますけど、土建部分と、SA部分があるんでまずは土建部分をやっていただければと思いますので、フジワラから
1:36:00	フジワラからの進め方に基づいてやっていただければと思います。
1:36:08	はい規制庁藤原ですそれがまず土建関係のものについて説明いただきたいと思います。それではまず、保管場所の周辺構造物あとアクセスルートの周辺構造物ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:19	これについて事業者の方から説明してもらって、質疑に入りたいと思います。説明をお願いします。
1:36:25	はい。北海道電力の藤田です。では今言っていた通り、ご説明させていただきたいと思います。
1:36:32	本日は特に主にですね、評価結果でそろってきたものをご説明させていただきたいと思います。ではよろしくお願ひいたします。説明は中瀬からさせていただきます。
1:36:44	北海道電力の中津です。よろしくお願いします。
1:36:47	本日の説明ですが、昨年10月のヒアリングにおいて、評価結果のうち、基準地震動を用いて解析を行う項目以外は一通り説明いたしておりますので、
1:36:58	本日のヒアリング効率的に進める観点から、前回の変更点、また要点等を中心に説明させていただきます。
1:37:06	ではアノは、8ページ、お願ひいたします。
1:37:09	保管場所の評価における周辺構造物の損壊についてでございます。
1:37:14	評価結果の一つ目の丸におきまして、
1:37:17	保管場所の周辺の構造物においては、耐震Sクラス、S _s 機能維持含む。
1:37:22	または基準地震動により倒壊しないことを確認、もしくは倒壊した場合においても影響範囲が保管場所外であることから影響はない。
1:37:31	また、外装材の影響がないことも確認してございます。
1:37:36	最後の丸なんですけれども、基準地震動による影響確認が必要な紙保管場所の構造物につきましては、アクセスルートの構造物を兼ねることから、
1:37:46	アクセスルート側の平方で整理すると。
1:37:49	記載してございます。
1:37:52	続きまして17ページお願ひいたします。
1:38:01	屋外のアクセスルートの評価における周辺構造物損壊についてご説明いたします。
1:38:07	評価結果、一つ目の丸でございまして、同様に耐震Sクラス、基準地震動に倒壊しないと確認もしくは倒壊した場合においても、必要な道路幅を確保できることを、
1:38:18	記載してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:20	注釈の一つ目で、耐震評価の構造物のうち、アクセスルートトンネルと送電鉄塔につきましては、許可段階では方針を説明し、詳細設計段階において、
1:38:32	評価結果を説明することを記載しております。
1:38:36	18 ページには評価結果の一覧表を示してございます。
1:38:41	続いて 19 ページお願いいたします。
1:38:45	ここでは保管場所アクセスルートの周辺構造物、あとまたタンクも一部ございますけれども、
1:38:51	他の条文も含めまして、基準地震動による影響確認が必要な構造物を一覧、
1:38:57	に整理してございます。
1:38:59	このうち、アクセスルートの評価において、耐震性をオク御説明する構造物につきましては、
1:39:05	青と黄色の着色をしております。
1:39:09	このうち、青の着色箇所につきましては、許可段階で耐震性をご説明する。
1:39:16	ものでございますので、評価結果をまとめ資料のほうに整理してございます。
1:39:21	まとめ資料資料 2-2 をお願いいたします。
1:39:27	ページは右下通しページの 351 ページとなります。
1:40:00	はい。説明続きます。耐震建屋関係の耐震評価について整理しております。
1:40:06	対象建屋は下表の通りでございます。
1:40:09	353 ページをご覧ください。
1:40:13	表に、各建屋の耐震評価結果をまとめており、
1:40:17	いずれの建屋も保管場所アクセスルートに影響を与えない結果となっております。
1:40:23	続きまして、354 ページをお願いいたします。
1:40:28	ここからは、建屋の外装材の影響について確認しております。
1:40:33	355 ページの表におきまして、
1:40:37	こちら基準地震動の評価が必要なすべての建屋につきまして、建屋内装材を整理し、影響評価の要否を整理してございます。
1:40:48	356 ページお願いいたします。
1:40:52	ここで評価結果を整理してございまして、いずれの建屋も保管場所アクセスルートに影響を与えない結果となっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:00	300、
1:41:02	57 ページからは、各建屋の個別の評価結果を、
1:41:06	記載してございまして、説明については割愛させていただきます。
1:41:12	すいません。パワーポイントの資料に戻らせていただきます。
1:41:17	パワーポイント資料 21 ページをお願いいたします。
1:41:32	ここでは、
1:41:33	アクセスルートで、耐震評価を実施する構造物のうち、詳細設計段階で、評価結果を示す構造物について、方針を示してございます。
1:41:46	今回アクセスルートトンネルにつきましては
1:41:50	評価方針をまとめ資料に
1:41:53	整理してございます。
1:41:55	また戻って申し訳ないんですけどもまとめ資料の 437 ページをお願いいたします。
1:42:19	こちらでアクセスルートトンネルの耐震評価方針についてということで、
1:42:24	先行審査実績として、島根原子力発電所
1:42:28	設工認審査資料におきましてアノワダにトンネルの評価結果がございましたので、
1:42:33	こちらの内容も参照しながら、評価方針を今回、
1:42:38	設定しております。
1:42:39	中身の説明につきましては割愛させていただきます。
1:42:43	説明は以上となります。
1:42:48	はい。衛藤規制庁藤原です。まずは江藤保管場所の周辺構造物関係とアクセスルートの周辺構造物関係、パワポでいきますと、
1:42:58	9 ページまでの中身と、等 17 ページから 21 ページまでの中身に加えてまとめ資料ですね、それに関しての質疑を、
1:43:08	させていただきますと私の方からちょっとまず、
1:43:11	話確認なんですけども、ちょっとまとめ資料のですね、351 ページ。
1:43:23	今回は前回の審査会合にて方針説明され今回その結果が出たということでいろいろとその結果が示されている建屋関係が、これ結構いろいろと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:34	かなりの枚数を置かれていますね。ちょっとお伺いしたいのが、この 351 ページから書いてある建屋の評価において、実績のない手法。
1:43:45	は使用しないという理解でよいでしょうかというのがまず 1 点でもう 1 点がですね、建設工認時からのナカモデルの変更、が、建設工事があるものに限るかもしれないけど、
1:43:57	変更とは、ないでしょうか。もう 1 点が
1:44:01	補強とかってこれ今回の要は持つ、持たせるために補強とかやってないでしょうか。
1:44:08	この 3 点について説明いただけますか。
1:44:20	はい。
1:44:21	北海道電力の大沢です。はい。まず 351 ページの方ですが、これらの建屋について評価手法についてはこれまでご説明している既工認との手法の相違という観点でそれから論点なるような新たな手法というのは用いてもらう。
1:44:35	おりません基本的には主点検モデルなりっていうその通常の他の建屋でやってる応答解析手法を用いて、評価をしております。
1:44:44	で、そのうち、耐震補強の有無という観点でいきますと、この 351 ページの第 1 表にございます。管理番号 27 番と 37 番ですね。
1:44:56	総合管理事務所とあと 1 号及び 2 号炉、連絡通路、これについては、今回といいますかこれまでの
1:45:08	過去のですねストレステストとか含めての時から経緯で一部耐震補強しているところがございます、その件、
1:45:16	対象競合というか最初、今の現状に対して、耐震評価、今回しているところ。
1:45:22	になってございます。
1:45:26	すいません、回答これで足りてますでしょうかちょっと質問。
1:45:33	その 1. 設工認からの変更点という感じですがこれらですね少なくとも、12 号 1 号の原子炉建屋及び 2 号炉原子炉建屋につきましては、事故以降に、
1:45:45	本にですね、ババ耐震バックチェック時に、1 回
1:45:50	耐震評価を改めてご結果をご説明させていただいておりますその時の耐震評価モデルをそのまま用いているというものになってございますので一応 1 度、田井向でご説明済みの
1:46:02	評価手法を使ってございますんでそれ以外の建屋につきましては

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:09	これまで説明実績ございませんので、今回改めて新たに内容を説明させていただき建屋ということになってございます。
1:46:19	はい。以上です。
1:46:21	はい規制庁シゲマスちょっと補強はちょっと置いといてバックチェック時のモデルを使って、ご説明済みという話は多分我々、なかなかちょっとあれだと思っんで、
1:46:36	北海道電力の長田はい。すいませんちょっと今ちょっと言い方があるかもしれないんで今回改めてこの別紙 10 の方で耐震評価内容ですご説明させていただいておる建設、
1:46:46	工認からは一部そういった形でちょっと更新してモデルの最新化をしているところがございますので、その辺を踏まえて、
1:46:56	改めて現状の耐震評価モデルの結果を今回、
1:47:01	資料としては資料化させていただいているということになっております。はい規制庁じゃないです。なんかよくわからないので建設工認からバックチェック時にどんな形を変えたのかというちょっと今後説明を。
1:47:16	いただけますか須磨様はその内容は何なのかちょっとよくわかんないんで。はい。北海道電力の大澤です基本的には 12 号の建設時が大分ちょっと大分前の設計モデルになってございますので今回は 3 号機、
1:47:28	の耐震評価モデルの考え方を踏襲して
1:47:34	基本的な耐震評価モデルの復元力特性だとかいうところはジャグの考え方に基ついでちょっと最新化をしているっていう。
1:47:43	はい。
1:47:46	はいその辺りを今回更新してございます基本的には 3 号機の原子炉建屋で評価、評価モデルとして使ってる考え方と同等なものでモデル化をして指導しているということになります。
1:48:06	電力の高瀬です若干補足させていただきますと、建設時から新たにジャグ追補版というものが制定されてることでありましてので、その弱の追補版に基ついで、新たに解析モデルを設定し直したというのが大きな変更点でございます。
1:48:23	地震動は関係ないです。
1:48:25	はい。
1:48:26	規制庁藤原です。結局だから、次回のヒアリングにおいてそれ説明はいただけるということでもよろしいんですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:38	はい。北海道電力のサービス建設時からの変更点については確かにこの資料では特段明記してございませんでしたのでその点はいはい。説明をちょっと記載する方向で考えたいと思いますはい。ありがとうございます。
1:48:49	はい。
1:48:50	そして、もう1個何か補強一部何だっけな総合管理事務所棟連絡通路でやってやれって言われて口頭でお話あったやつっていうのは、資料上何かなんかあんまり見かけなかったような気がしましたけど。
1:49:04	どうなんでしょね。どんなところやってんでしょやし。何かちょっと今後、その補強内容見た方がいい。どういうところを補強してるのかがちょっとよくわかんないんで。
1:49:14	ちょっと、
1:49:15	まず口頭で、
1:49:17	どういうところをやってるか教えてもらっていいですか。はい。北海道電力の大澤です。今回そもそもこの総合管理事務所と連絡通路の耐震評価を実施して、内容を説明するのが初めてですので特にノモトがあるわけではないんですけども、補強部位といたしましては
1:49:33	通しページの388ページをお願いしてよろしいでしょうか。
1:49:42	イシタのページ番号で388ページですね。
1:49:45	こちら総合管理事務所の概略の断面図、示しているページになってございます。こちら、上のX1通りでいきますと、この左側0からY1にかけてのこの
1:49:59	若干44階部分までこう張り出してるワンスパンとブレース材がアノを表現してございますが、こういったところと、こういった外付けのフレームをワンスパンを設けて、
1:50:11	ブレス補強しているというところが今回この関連事務所、
1:50:16	部分になってございます。
1:50:22	と12号連絡通路につきましては、土佐さん、399ページですか。
1:50:33	319ページに同様に12号連絡通路の絵と、
1:50:38	概略の断面を示してございまして、こちら断面図でいきますと、
1:50:46	X、2通りですかね、右側の方の断面図の右側の図の両サイドの、ブレス等の補強。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:54	部がそういったところになって
1:50:56	設計時からの補強になっているというところになります。
1:51:04	北海道電力のタカハシですちょっと少し補足させていただきますと、耐震補強という定義という言葉にはなるとは思うんですけども、この評価自体今回の再稼働新申請において、何か耐震補強したということではなく、
1:51:20	社内におきまして当時の設計時から自主的に耐震補強をもととしていたと。それに対して、今回、この新しいモデルですのでこれに対して、耐震評価を実施しましたということなんでちょっとその耐震補強という定義がちょっとあれなんですけども、そういった
1:51:38	工事を行ったということ。
1:51:46	はい。衛藤補強だけは理解しました。はい。
1:51:59	規制庁シゲマスもう1点だけちょっと私の方からなんですけども、パワポのほうに戻っていただいて8ページのですね、
1:52:12	ちょっと枠囲みの中なんで1回ちょっとマイクオフにします。
1:53:10	はい。マスキング箇所は確認は終わりました。はい。私の方は以上ですがその他ございますでしょうか。
1:53:27	規制庁の三浦です。ちょっと建屋系の今ご説明あったんで、
1:53:31	まとめ資料の、ごめんなさい、2-2か、2-2の資料の、
1:53:36	355ページなんですけど、
1:53:40	ここで、影響検討の要否で、
1:53:45	火になって*2DRI関係から外装材の出せるか想定しても影響ないっていうのやってますよねこれ。
1:53:53	具体的に外装材は崩落してもう2H分でしたっけ。それと、アクセスルートの距離、
1:54:00	これどっかに火を消してあります。
1:54:03	この*2が成立するっていうエビデンスってどっか行ってますか。
1:54:12	北海道電力の中津です。外装材の影響範囲につきましては2Hでなくて、2分の11。はい。
1:54:19	11ですね、ありましてで、その外装材の影響範囲についてはこの資料上は載せていない状況でございます。ここで*2が整理してるっていうのをね、
1:54:30	エビデンスとして残しといて欲しいんですよ。だから表形式にして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:34	2分の1と、あと時間距離、
1:54:38	これをちょっと比較しといていただくといいと思います。よろしいですか。
1:54:42	北海道電力の明石です。ご指摘の点承知いたしました。
1:54:45	はい。あともう1点なんですけど、409ページ。
1:54:50	51メートル倉庫車庫っていう耐震評価してますよね。これ、
1:54:55	もうやり方が
1:54:57	静的残そう解析やってあって、それでスケルトン取ってやって、それを取りに形にモジュール化してやってし点検を持ち込んで、
1:55:06	なんですけど。
1:55:07	これは申し訳ないんですが、残存解析どういうモデルでやって、その結果がどうなってるってこともあわせて、この中に入れといていただけますか。
1:55:17	山増解析のモデルはどういうモデルで、
1:55:20	どういうふうな加力をやって、
1:55:22	その結果としてこんなスケールと持ち込んで、それを例えば413ページのようにスケルトン補正するっていうような感じで、残存会社部分ちょっと見えるような資料。
1:55:33	これをつけていただくことは可能ですか。
1:55:36	はい。北海道電力のサービス承知いたしました今おっしゃっていただいた通りの増分解析でこのカーブを決めておりますのでそのモデルなり考え方ですね、ちょっと
1:55:47	どういうふうに書くかちょっと検討させていただきたいと思います。そうですね静的残渣をやってそれでスケジュール取ってる時は各プラントそのエビデンスをつけてもらってるので、
1:55:57	それよろしくお願いします。
1:56:04	長部さん、承知いたしました。
1:56:06	以上です。
1:56:17	規制庁熊谷です。
1:56:18	すいませんちょっと私、前回のアクセス数ルートのもので、ヒアリングちょっと出席できてなかったこともあって、
1:56:26	単純なことを確認させてもらうかもしれませんがパワポのところの7ページのところで、
1:56:34	これ、
1:56:35	①と②のところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:38	被害所の通通路閉塞とか、通行不能とかってあるんですが、この
1:56:45	通路閉塞っていうのだけ、ちょっと他の記載と違ってるんですけど、①は何か
1:56:51	他のものって何か
1:56:53	被害事象がちょっと変わってきたりするんですけども、そこら辺、どういうことなのか教えていただけますか、ご説明いただけますか。
1:57:20	ちょっと確認しますんで少々お待ちいただけますか。
1:57:33	北海道電力の中瀬です。
1:57:37	ちょっとこちら言葉の定義ちょっと見直させていただいて、必要であれば適正化させていただきたいと思います。以上です。
1:57:47	規制庁クマガイです。
1:57:48	はい。仲野。
1:57:52	特に違いがないようであれば、
1:57:54	適正統一していただくと、わかりやすくですねしていただければと思います。
1:58:00	あと、
1:58:02	次のページ8ページなんですけども、
1:58:05	これはマスキングされてるんですけど、
1:58:09	一部の施設では
1:58:14	構造物損壊の影響範囲とかっていうものがですね、示されてるんですけど、
1:58:20	これ、
1:58:21	これらの施設だけやってる、やっていて他のところはやってないっていうんですけど、そこら辺はどういった考え方で示されてるのか教えていただければと。
1:58:29	はい。ご指摘の点
1:58:33	説明説明させていただきます。
1:58:36	まず8ページの保管場所の方なんですけども、ここは、建物が倒壊した場合に保管場所に影響があるかという観点でございますので、
1:58:46	保管場所近傍にある構造物を対象に、
1:58:52	抽出してございまして、
1:58:57	一応図の方にですね※の二つ目に小さく保管場所、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:02	周辺の構造物を表示しているということで、地域している状況でございます。
1:59:09	で、17 ページの方、お願いいたします。
1:59:15	こちらの観点では、
1:59:20	アクセスル都市近傍の構造物が倒壊した場合でも、通行幅があるかという観点でございますして、
1:59:27	倒壊しても全くアクセスにかからないものは図面上は省略しております、
1:59:33	こちらの注記二つ目で、アクセスルート周辺の構造物のうち、損壊影響範囲がアクセスルートに干渉するものを表示しているという、見せ方でございます。
1:59:44	ちなみにまとめ資料のですね
1:59:47	別紙9 というものを整理してございまして、
1:59:50	ページで言いますと、
1:59:55	右下の 347 ページになるんですけども、
2:00:00	ここは
2:00:01	衛藤。
2:00:03	アクセスルートが設定されている。
2:00:05	周りすべてですね建物を倒壊させて、
2:00:10	全体が見える形という見せ方にしております。以上でございます。
2:00:20	規制庁熊谷です。
2:00:21	はい。ご説明いただきましたけど
2:00:24	例えば
2:00:26	H e a d。
2:00:27	先ほどお話ありました 8 ページのところだと、
2:00:31	保管場所周辺の構造物を表示していると。
2:00:36	いうご説明なんですけど。
2:00:39	保管場所周辺の構造物としては、
2:00:43	ぱっと見ですね。
2:00:45	この示されてるところ以外にも、
2:00:49	あったりするのかなと思って。
2:00:51	たりですね、するんですけど、
2:00:56	もちろん、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:00	原子炉建屋とかは除かれてるんだと思うんですが、とかですね他のものも幾つかあると思うんですけども、
2:01:07	どうしてこの
2:01:09	これらを選択されて他のやつは選択されていないのかっていう考え方というか
2:01:16	抽出の考え方みたいなのが、もしあれば教えていただければと。
2:01:21	ご説明いただければと思いますがいかがですか。
2:02:41	規制庁クマガイです。ちょっとマスキング箇所だったので、コメントしてないところもありましたが、
2:02:48	内容確認できました。
2:03:00	17 ページについてなんですけども、
2:03:19	いろいろと評価されてると思うんですけども、
2:03:23	ちょっとマスキングファイナルでちょっとマス毎切りますけども、
2:04:31	規制庁クマガイです。はい。
2:04:35	マスキング対象のところの説明についても、
2:04:38	確認できました。
2:04:43	あと、
2:04:44	もう 1 点だけですけども、
2:04:49	これも、一旦ちょっと前切りますが、
2:06:18	規制庁クマガイです。
2:06:20	では、
2:06:22	そこについてはですね、また
2:06:26	次回詳細野瀬資料に落とし込んでいただければと思います。
2:06:30	私からは以上でございます。
2:06:36	規制庁の笠田です。資料 1-1 の 2-1 のですね、8 ページ目。
2:06:46	で、皮膚
2:06:48	評価方法の 2 番目の丸で、耐震 S クラスって書いてあって、
2:06:53	外装材が脱落する可能性のある構造物人。
2:06:59	については外装材の落下による影響範囲の建物の高さの半分として設定するって書いてあって、この根拠を見ようとしたんですけど、この根拠が、まとめ資料に書いてないんですけど、この根拠を教えてください。
2:07:14	ということと、あと資料 2-3 の 59 ページの、
2:07:20	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:22	5-3 表では、
2:07:24	基準地震動に対して倒壊しない設計とするため影響範囲はない。
2:07:31	外装材の脱落による影響はないという記載して
2:07:36	あって、ここら辺の表現というのは、
2:07:39	何か整合性がとれてないような気がするんですけど。
2:07:43	この点について説明してください。
2:08:08	北海道電力の中瀬でございます。
2:08:12	外装材の影響範囲の
2:08:14	根拠につきましてはまとめ資料に、
2:08:17	記載がございまして
2:08:21	資料 2-2 の右下 57 ページをお願いいたします。
2:08:42	はい。衛藤。
2:08:44	えっとですね（エ）の評価方法の、
2:08:47	箇所の 2 段落目の部分で、
2:08:51	途中から外装材落下による影響範囲を建物高さの半分とし設定するの設定に、
2:08:58	注釈をつけてございまして、一番下に外装材の落下の影響範囲は、
2:09:03	国土交通省住宅局建築指導課長に出された。
2:09:09	こちらの文書を参考に設定するというところで、
2:09:14	背根拠を記載してございましてちなみに先行サイトと同様の考え方でございます。
2:09:21	次の
2:09:28	政策。
2:09:46	でしょ。
2:09:56	A と、2 点目のご指摘の外装材の影響はないと評価結果で切っている部分は、
2:10:02	先ほど整理した別紙 10 の方では
2:10:05	落ちたとしても影響範囲内と記載してる部分もあってご指摘の通り整合の部分でございますので記載のほう適正化させていただきます。以上です。
2:10:16	わかりました
2:10:19	後、資料 2 の 57 ページの
2:10:25	国土交通省住宅局のこの指導の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:29	外装材建屋の高さの半分日ってというのは、これは一般的な地震に対してだと思っんですけど、これSS見たい非常に大きな地震に対してもこれが成り立つという根拠を、
2:10:42	は何なんでしょうか、教えてください。
2:11:20	はい。
2:11:24	はい。北海道電力の大崎と、ちょっと、そうですね被害としてはその地震動の大きさの違うかもしれないですけどもその結果として起きる被害をどういうふうに落ちるかっていうところは大きく変わらないのかなと思っておりますので、
2:11:36	この考え方が適用できるのかなというふうには思っており、
2:11:39	ます。はい。ちょっとその点、ちょっとどのように記載するかちょっと検討したいと思います。ちょっと後日、そこらの理屈をつけて説明してください。
2:11:49	よろしいでしょうか。
2:11:53	北海道高瀬承知いたしました。
2:11:59	本当は、
2:12:00	規制庁中尾笹です。資料2-1の、
2:12:04	31ページ目なんですけど、
2:12:12	そっかそっから説明だと、
2:12:16	す。
2:12:22	9ページまで。
2:12:24	17ページから21ページ。
2:12:28	563はいいんですか。
2:12:44	後ですかね。
2:12:54	規制庁大橋です。
2:12:56	パワポ資料の8ページで、先ほど話が出てきた外装材の話なんですけど、
2:13:04	左側の黄色いハッチングの評価方法の一つ目の丸は、外装材について脱落しないことを確認するっていう。
2:13:13	ことをやってて、
2:13:14	二つ目の丸は、
2:13:16	さっきの外装材は剥がれるんだけど、
2:13:19	落下しても遠くまで飛んでいかないから大丈夫っていうような、
2:13:24	手順で評価するっていうのは書いてあるんですけど、
2:13:28	下の方の評価結果。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:30	になると、
2:13:32	最初ノーマルば外装材について何も書いてなくて、
2:13:37	二つ目の丸で、階層材の影響がないことを確認したっていう感じな書き方になって、
2:13:44	ちょっと対応がとれてないかなっていう、
2:13:49	記載の方の話ですけど。
2:13:52	この二つ目の外装材の影響がないことっていうのは、これわあ、
2:13:57	外装材が脱落しないっていう話を言ってるのか、外装材ワダ脱落するけど、徳間で飛び地らないっていうことを言ってるのかが、
2:14:08	パッと見た目わかりにくいんで、そこは、
2:14:11	もうちょっとわかりやすく書いてもらいたいなと思うんですがどうでしょうか。
2:14:16	北海道電力の中瀬です。ご指摘の点承知いたしました。外装材の影響がないということについて、もう少しわかりやすく記載したいと思います。以上です。
2:14:26	規制庁大橋です。9 ページもそういう。
2:14:30	影響がないということだけ書いてあるんで、そこは脱落しないのか。
2:14:37	脱落するけど大丈夫かっていう具合をお願いします。
2:14:40	北海道電力中瀬承知いたしました。
2:14:44	規制庁大橋です。パワポ資料の 20 ページなんですけれども、
2:14:50	パワポの 20 ページのこの評価の分類について、これは審査会合資料だということで、
2:14:57	ちょっとこのページだけ切り抜いて説明が不十分なのかもしれませんが、
2:15:03	ここに左側に四つ分類が書いてあって、
2:15:07	ちょっとその分類のやり方が、
2:15:09	パッと見た目、
2:15:11	わかりにくいんで教えていただきたいんですが、
2:15:14	最初の S クラスの分類、これです。
2:15:17	クラスを対象にしている。
2:15:19	次は S s 機能維持、これは、
2:15:21	S クラスもそうだし C 括弧 S s に対してもこれをやる。
2:15:26	三つ目の波及的影響評価、これは下位クラスに対して評価する。
2:15:31	というところまでは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:33	理解しやすいんですが、
2:15:35	四つ目の耐震評価。
2:15:37	これは一体どういうものを対象にして評価をするのかっていうのがちょっと、
2:15:43	見えてこない。他の上の三つと何が違うかっていうのをちょっと説明してください。
2:15:55	電力のオーサーです。はい。こちら、基本的にはですねパワポ、資料2、2-1の19ページですか、に記載してございますが、
2:16:07	ここで書いてる通りですねた条文、この上の文章ですね黄色いハッチングした文章のところの、丸の2個目では、他条文でご説明するものについては
2:16:21	評価区分として設工認という区分してございますというところと、丸の三つ目で、上記以外の、この保管場所及びアクセスルートの評価において体制をご説明する構造物、これについては、
2:16:35	この設置許可段階で説明するものと、設工認の中で説明するものがございますが、この
2:16:41	枠組みも、
2:16:43	なるものが、分類としては今回この耐震評価という分類に当てはめているという。
2:16:48	のが考え方。
2:16:50	あと、考え方になっております。
2:16:55	オオハシです。19ページの通りだということ等で、
2:17:00	ご説明ありましたけれども、
2:17:03	ちょっと評価の内容についてですね、
2:17:08	S s 機能維持の場合は、右側の欄で、
2:17:12	発生応力増が許容値、※2 を超えないことを確認する。
2:17:18	三つ目の波及的影響評価の評価方針についても、発生応力度等が許容値※2 を超えないことを確認する。
2:17:26	これ両方とも※2 の説明しかないんですけども、
2:17:31	実際にはS s 機能維持の場合は、
2:17:34	機能を維持できるための許容値ってのが必要ですよ。
2:17:39	波及的影響評価の場合は、これは下位クラスの話ですから、
2:17:43	下位クラス自体は、
2:17:45	安全性機能をここでは求めてないはずなので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:51	下の耐震評価みたいに倒れなければいいっていうような許容値を用いるはずなんですが、
2:17:57	この表だと、
2:18:00	同じ許容値のような書き方に見えるんですけどもそこはどうで、ちょっと説明お願いします。
2:18:06	はい。北海道電力の小澤です今おっしゃっていただいた通りですねSクラスS機能維持のこの許容値と波及的影響評価の許容値、同じ許容値と記載してございますが、
2:18:16	建屋の評価等においてはアノ自体は、違うそれぞれに合った許容値を用いておりますので、それをちょっとまとめて許容値という表現をしてございますが実態としては
2:18:27	今おっしゃっていただく分類にみあった許容値を設定して評価しているということになってちょっと書き分けはここではしておりませんでした下の耐震評価についても同様です。
2:18:38	うん
2:18:41	まだ、
2:18:43	この段階なんで、いろいろとり方はあると思いますがすいません規制庁大橋です。
2:18:48	できれば、
2:18:50	S s 機能維持の評価、共用値とはっきり影響評価の許容値は違うっていうのは、明確にすべきだとは思いますが。
2:18:59	それと下の耐震評価で、
2:19:02	ここでは右側の評価方針が、今度許容値じゃなくて、許容限界っていう言葉を使ってるんですけど、これはどちらかというと波及的影響評価の許容値、
2:19:14	近いっていうか、倒れなければいいっていう話に近いんだと思うんですが、
2:19:20	ここで言葉を変えるっていうのが、
2:19:24	ちょっとよくわからないんですけども、説明をお願いします。
2:19:29	力の大澤ですはい。ちょっとここ、耐震評価のところにはですねこの、またちょっと19ページの方に戻ってしまいますけれども、耐震評価の分類の中でも建物構築物もそうですけれどもアクセスルートトンネル土木構築物ですとか鉄塔といった構築物も入ってございますのでそういった観点でちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:47	広い表現としてこの表現変え方にしてしまっておりますが実態としては供用中と書いても特段
2:19:55	違いはなかったかなという一つ記載表現だけの数字だったかなというふうに考えており、
2:20:00	ます。実際の中身としては建屋の評価においては波及的影響評価と、この耐震評価の許容値ってのは
2:20:07	おっしゃっていただいた通り同様に倒壊しないような限界っていうところで考えておりますので似たような許容値になっているというところで認識しておりますちょっとここ書き分けができてない。すいません。
2:20:20	既設のエザキですが、今日限界って言った場合に、
2:20:23	そちらもそうだし、うちもそうだし、基準規則に書いてあるので、基準規則の定義通り、
2:20:29	使ってますよね、妥協限界って。
2:20:32	何に対しての狂言会かっていうことを踏まえて、使わないと勝手に使い分けちゃうとまずいですよねと、どっちもテンパチとかに書くんで、
2:20:42	下手すれば本部にも帰っちゃう話なんでその教育委員会と一緒にすかって話になっちゃうんで。
2:20:48	確かに今日限界は、
2:20:51	各、
2:20:52	SBC、
2:20:54	応じて、今日限界があるでしょうからそそういうこともあるので、それとは別の話ですよ。
2:21:02	明らかに
2:21:04	当会って、保有耐力法みたいな。
2:21:06	イメージでしょうから。
2:21:08	だからその辺ってちょっと言葉をちょっと。
2:21:12	使うなら使うっていうか、使わない正確に使ってもらって、
2:21:17	もしそれが表現できないんであればそれは新たに定義してもらって、言った方が多くてただ紛らわしいのは、基準規則とかそちらのテンパチ等で書かれるような用語と一緒にするのはあまり望ましくないと思うんで、
2:21:29	それをちょっと注意して、使っていただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:35	海田電力長田所長ここそれぞれの丘陵地協議会とここの書き方についてはちょっと改めて再考させていただきたいと思います。以上です。
2:21:44	規制庁大橋です。
2:21:48	審査会合で使ってる資料なので、あまり、
2:21:52	変えるかどうかっていうのはまたちょっと別の観点で考えることかと思うんですけど。
2:21:57	帰れないんだったら注釈の方できちんとフォローするとか、誤解のないようにしていただければなと思います。
2:22:06	あともう一つこの表で、ちょっと抜けてるのは、
2:22:11	損傷、倒壊しても、
2:22:14	離れてるので大丈夫だっていうような評価がコガないんですけど、これはこの表として、
2:22:21	そういう等価した後それで、今日
2:22:26	上位クラスに対して被害を与えるあたりはまた別の表だというそういう理解でいいですか。
2:22:34	はい。北海道電力長田はいここではあくまでこの19ページの表で、まず、耐震評価をするものを抽出して行って、その評価方針は、この
2:22:46	20ページの表の通りですというような整理をしております倒壊する前提の建屋なり構造物についてはちょっとこの、このなんていう前段で、
2:22:55	1階フロアとしてるというか、ここ、ここでは記載していないという、別枠になってございます。
2:23:01	はい。規制庁大橋です。そういう扱いということで理解しました。
2:23:06	もう一つ別のテーマなんですけれども、21ページの資料、資料21ページで、
2:23:14	アクセスルートトンネルの評価が、
2:23:17	ありまして、
2:23:19	これは、
2:23:21	まとめ資料だと43789ページぐらいにある、ありまして、
2:23:28	438ページには、
2:23:30	トンネルの断面があって、
2:23:34	右

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:36	上の方に平面線形もあるんですが、
2:23:39	通常、
2:23:41	平面線形で曲線がある場合は、
2:23:45	車両の軌跡を書くと。
2:23:47	横はバーに拾う、横に広がって、
2:23:52	道路幅員を広くしなければ回れないという、
2:23:56	ことが起きるんですが、
2:23:58	それについては、このトンネルの断面、スプリングラインで 8.66、
2:24:05	2メートルありますけど、それで十分足りるっていう認識でいいで しょうか。
2:24:11	はい。北海道電力の三浦です。アクセスルートの通行性について は、この別紙12ではなくて補足、資料参照いただきたくて、
2:24:22	右下ページN○822ページ、補足資料23をご覧ください。
2:24:35	はい。補足23なんですけども、アクセスルートトンネルの可搬型 設備及び重機の通行性についてというところで、
2:24:46	すいません、補足2。
2:24:48	大丈夫ですか。
2:24:50	ページ数が、右下822です。
2:24:54	で、補足23-1ページというところになります。
2:25:01	心、こちらのページの第1表のアクセスルートトンネルの使用と いうところの表の一番下の方に通行する車両が、三つ、三つ記載 してございまして、
2:25:12	こちら3種類の中、車両に関する通行性に関しましては、ページ をめぐっていただいて右下ページ825。
2:25:22	になります。こちらの第3図というところで、トンネル極浅部 における車両の軌跡図というのを示してございます。
2:25:29	こちら3種類の車両について通行が可能であるというところをこ ちらの方で確認しているということになります。以上です。
2:25:38	規制庁大橋です。このトンネルを、李、こういう大型車両を利用 する場合は、
2:25:47	総合交通じゃなくて、片道一通で
2:25:51	運用するということで理解しました。
2:25:54	あと、
2:25:57	同じトンネルのですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:00	評価、
2:26:01	について、
2:26:05	復興のコンクリートについては、
2:26:08	応力評価をするってということが書いてあって、もう一つは変形について、
2:26:14	15センチまで見るよっていう話なんですけど、
2:26:18	実際に15センチ、このコンクリートの断面が変形した場合、応力的には、
2:26:25	もたないですけど、
2:26:27	実際に15センチまで見るというそういう、
2:26:31	わけじゃないですよ。段差が15センチまで単にいけるよっていう話で、
2:26:37	本当に15センチまで変形しても、コンクリートの復興が健全だというそういう説明ではないですよ。お願いします。
2:26:48	北海道電力の三浦です。今おっしゃった通りの認識でございまして、アクセスルトンネルの復興は、耐震、もちろん耐震性を持った復興となつてございまして、
2:27:00	ただ先行サイトの嶋田原発もこういった段差評価を追加しておりますので、我々としても、間違いなく、問題ないということをご確認するという意味合いで記載してございます。
2:27:12	なので15センチまで仮に14センチであれば問題ないというような評価を進めはもちろんございませぬので、はい。
2:27:19	以上です。
2:27:21	店長大橋です。了解しました。はい。私から以上です。
2:27:30	規制庁の三浦ですけど先ほどちょっとオオハシとの話を見てて、
2:27:34	資料2-1の20ページなんですけど、
2:27:38	ここんところ、評価方針のところを少し手を入れるってお話されましたよね。
2:27:43	ちょっと明確にしておきたいのが、SクラスSSに関しては発生応力度が、
2:27:51	行事するのは終局強度。
2:27:54	あと剪断ひずみというのは、2000万円から、
2:27:58	波及的影響の場合は、
2:28:01	発生応力度はこれやっぱり終局。
2:28:04	せん断ひずみは4000マイクロ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:07	そのほかに、層間変形計画 30 分の 1、
2:28:12	それは多分通るのかもしれないんですけど、
2:28:15	直されるんだったら、ちょっとその辺明確に書いといたらいいと思いますよ。
2:28:23	Q 値、S クラス S s 機能維持で発生応力に関しても両方とも終局以外やりぐらいですよ。
2:28:29	同じものと同じじゃないものが混在しちゃうんですよ Q 値ってことね。
2:28:34	だから、少し、もしも、これも会合資料なんで、もう今更っていうこともあるかもしれないんですけど、
2:28:42	まとめ資料なんかの中にですね、誤解を受けないように、
2:28:46	きちっと書かれる方がいいと思います。
2:28:53	はい。北海道電力の笹野、今皆さんおっしゃっていただいた通りでせん断ひずみであれば 2000 マイクロと 4000 マイクロとかそういった使い分けしてございますので、そのあたりちょっとポイント載せるのかおっしゃっていただいてちょっとまとめ資料で注釈をちょっと充実するだとか、ちょっとこの書き方は
2:29:08	社内でも確認検討させていただきたいと思います。
2:29:11	はい。
2:29:12	北海道電力の高橋ですけど、今、
2:29:16	アドバイスいただいた通りちょっと数値を直接書くのか、例えばここに、耐震 S クラスに求められる、四条側で求められる許容値を超えないことを確認するとか、そういった何ていうかね、直接ダイレクトな数字でいくのか。
2:29:31	ちょっとそこがはっきり先ほど大橋さんのコメントも使い分けがわかるようにということでしたので、そのあたり少し我々もちょっと考えて、記載を少し、少し考えさせていただきたいと思います。
2:29:45	はい、了解しました。
2:29:51	規制庁の江崎です。
2:29:53	私からですね、
2:29:55	17 ページ。
2:29:57	についてちょっと質問したいんですけど、ちょっとマスキングに関係するんでマイク切ります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:50	規制庁の江寄ですマスクングについてはちょっと今確認しましたので、私から終わります。
2:31:03	規制庁藤原です。少々お待ちください。ちょっと庁内で話します。
2:32:09	はい。規制庁城です。庁内打ち合わせが終わりました。はい。要は今までの資料、パワーポイントございパワーポイントの1から9ページまであと、
2:32:20	パワーポイントの17から21までの間の話について、規制庁がまず会議室の方、よろしいですか。
2:32:30	谷口さんお願いします。
2:32:41	谷口です。ちょっと枠の中の話なので、
2:32:45	切っていただいていいですか。
2:32:49	何件忘れませう。
2:32:51	マイクをオフにします。
2:35:19	はい。打ち合わせありました。すいません。以上です。
2:35:47	はい。それでは
2:35:50	ここまでの話の中でウェブで参加の方も含めていかがですかね。
2:36:09	はい。そしたら、保管場所、次の説明としては保管場所の要は液状化とか浮き上がり支持力と地中構造物とかその辺りを、
2:36:20	説明をまずしてもらえますかね。
2:36:28	はい。北海道電力の三浦です。それではご説明させていただきます。パワーポイントの資料2-1の
2:36:36	右上10ページをお願いいたします。
2:36:45	はい。⑤液状化及び揺すり込みによる不等沈下、傾斜液状化による側方流動というところとなります。
2:36:53	この10ページは評価方法になりますが、一部ツジを解消してございます。評価方法に変更はございませんが、埋戻動の沈下率について、五条川での審査内容反映施設維持を解消しております。
2:37:08	ただですねつまり、泊発電所における各保管エリアには、下部には埋戻度が存在しないため、沈下率の設定方法については、後程の屋外のアクセスルートの説明にてご説明したいと思います。
2:37:23	ページをめくっていただいて11ページをお願いいたします。
2:37:27	こちらから、⑤の評価結果になります。
2:37:31	左図に示す通りですね、シミズ保管エリアには、メモ材料の下部は岩盤、またはマーメイドロックの上に保管されること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:42	そして、地中埋設構造物が存在しないということから、影響はないというふうに整理してございます。
2:37:50	続いて、ページ 12 ページをお願いいたします。
2:37:54	ページ、12 ページの方につきまして右側の図に示す保管エリアについては、保管エリア下部に地中埋設構造物が存在しますが、
2:38:05	構造物自体が、岩着しておりコンクリートを埋め戻されている。
2:38:10	または、岩盤内に設置されているということから、影響はないというふうに整理してございます。
2:38:17	ページをめくっていただいて、⑥、13 ページになります。
2:38:23	⑥については、液状化による地中埋設構造物の浮き上がりになります。
2:38:29	評価結果の方ですけども、こちら、⑤と同様の考え方で整理してございまして、一つ目の丸各エリアには地中埋設構造物が存在しないこと。
2:38:43	または、先ほどご説明した通り、その下部に存在する中埋設構造物の設置状況によりまして、浮き上がりによる浮き上がりが発生せず、影響はないと。
2:38:55	いうふうな整理してございます。
2:38:58	続きましてページ 14 ページ、⑦、地盤支持力の不足についてご説明いたします。
2:39:06	こちらも評価結果の方に移りますけども、
2:39:10	下の表に、次、地盤支持力に対する影響評価結果に示します通り、
2:39:17	各保管場所の地盤支持力については、地震時最大接地圧が、評価基準値を下回っており、地盤支持力に対する影響はございません。
2:39:28	ページをめくっていただいて、15 ページになります。
2:39:32	こちらでは、⑧番、1 中埋設構造物の損壊になります。
2:39:38	こちらの評価結果につきましても、先ほどの⑤、⑥と同様の考えで、
2:39:43	それぞれの保管場所には、地中埋設構造物が存在しない。
2:39:49	または、エース下部に存在する地中埋設構造物の設置状況により、損壊に対する影響はないというふうな整理してございます。
2:39:58	保管場所の評価のご説明については以上となります。
2:40:02	はい。規制庁藤原ですそれでは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:05	これに関する質疑します 10 ページから 15 ページ目。
2:40:09	までの間ですね、12 ページの方、私からは、12 ページなんですけども、
2:40:16	評価結果の黄色ハッチの、
2:40:22	二つ、一つ目の丸の 3 行目ですかね、コンクリートで埋め戻されてるっていうことについては、
2:40:28	評価結果の下の方にある道路排水設備断面図ですかね。
2:40:34	これの要はなんか車線、
2:40:38	何か埋戻コンクリートっていうところ。
2:40:41	を多分指してるのかなと思って、一つだけ確認ですけどこれは 6k600 の菅野ナカは埋戻しないということでよろしいですかね。
2:40:51	北海道電力の三浦です。ご認識の通りでここは道路排水設備になりますので、排水カトウル計 600 となります。
2:40:59	はい規制庁シゲマスわかりました。ちょっと文章だけでも、この 3 行目とかですかね、要は道路排水設備の衆よ、コンクリートで埋めもど
2:41:09	されてるかな、されてるといふか、
2:41:12	うん自動的にしてるのかどうかわかんないすそういうふうにちょっとどこかというのをちょっと書いてもらっていいですかね。
2:41:19	北海道電力の三浦です。承知いたしました。
2:41:30	規制庁熊谷です。
2:41:32	14 ページのところですけど、この間の現地確認に関してもらったときに、ちょっと見せてもらったの。
2:41:40	発電機車あったんですけども、
2:41:43	その
2:41:44	現地の発電機ちゃって、
2:41:46	この A にですね追加で何か屋根とかですねいろいろそういったものもついてたと思うんですけどそういった、
2:41:52	物も何か重量として考慮されてるんでしょう。それなんかも全然別の、
2:41:56	私が見た別のものだったりするんですか。
2:41:58	教えてください、説明をお願いします。
2:42:02	北海道電力の中津です。この前、現地確認私も行きましたけども
2:42:08	見られたのはですね
2:42:09	衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:11	耳号炉の移動。
2:42:14	代替非常発電機ということで常設、2号機の常設衛星設備になるものをご覧いただいております、
2:42:22	こちらに記載してるのは
2:42:25	考え方に電源車ということで可搬型SA設備のデモのものが違うというものでござい。
2:42:31	規制庁クマガイですはい。ご説明ありがとうございましたわかりました。
2:42:40	はい。それでは衛藤 10 ページから 15 ページの間で何か確認等ございますでしょうか。
2:42:45	植木さんから。
2:42:48	よろしいですかね。はい。
2:42:50	そしたらですね
2:42:54	アクセスルートの
2:42:58	当のそうですね。
2:43:04	少々お待ちください。
2:43:15	はい。お待たせして、ページ数でいくと 22 から 26 ページ目の間要は可燃物の損壊及び薬品漏えいの&溢水評価タンクの損壊、これについて説明。
2:43:28	してください。
2:43:30	北海道電力です。他ねなくすです。0 奥秋節の②番市営タンク等の損壊についてご説明いたします。
2:43:40	まず、こちら 22 ページなんですけれども、
2:43:44	このうち黄色の設備が薬品関係設備なんですけども、
2:43:48	昨年 10 月のヒアリングからですね
2:43:52	伝書の運用変更と、あと新規設置の理由によりまして、
2:43:58	総合管理事務所排水処理、
2:44:01	装置上屋というせものと、あと機械室、上屋-1 というものをですね
2:44:07	追加してございます。
2:44:09	営業課の結果につきましてはまとめ資料、
2:44:12	の方に掲載してございまして、
2:44:15	ページで言うと 111 ページから 115 ページになりますけれども、
2:44:31	111 ページからのこの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:34	黄色くハッチングしてるところが追加した設備でございますけれども、
2:44:38	いずれのアクセスルートに影響はないと、整理してございます。
2:44:44	その他は昨年とか、変えておりませんので、
2:44:49	ね割愛いたします。
2:44:52	続いて26ページ、パワーポイント資料ですいません。26ページをお願いいたします。
2:45:02	次はアノイシ評価タンクの損壊についてご説明いたします。
2:45:07	こちらは
2:45:09	以前はツジとしてたんですけれども、第9条の審査状況を反映してございまして、
2:45:17	丸二つ目の方になるんですけれども、すべての
2:45:21	屋外タンクが同時に壊れた場合の、
2:45:24	水量について、
2:45:26	この排水設備とかの流出等も考慮しなかった場合の、
2:45:32	敷地の浸水深というものを算出しまして、結果0.10メートルとなっております。こちらの水位が、
2:45:42	緩和設備の総合化の推移である0.21メートルを下回ると。
2:45:47	ということを確認してございます。
2:45:50	こちらに関連した資料でまとめ資料がございまして、
2:45:54	ご説明させていただきます。まとめ資料の691ページ、お願いいたします。
2:46:13	はい。
2:46:15	ここでは、
2:46:18	イセ評価についてということで、
2:46:21	先ほど2の施設名に合わせて、
2:46:24	構内排水設備を使った場合の排水処理時間というものと、
2:46:30	あとは
2:46:32	井清協の流動、解析結果というのを整理してございます。
2:46:38	693ページお願いいたします。
2:46:43	ここでは、水量と、排水可能流量から、主要時間を排水する時間を算出して、23分であることを確認してございます。
2:46:56	で、可搬型設備を用いたATP10メートルエリアでのこの作業開始時間というのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:02	自社発生から 55 分後でございますので、影響はないと整理してございます。
2:47:09	続いて 694 ページからは、流動解析を行ってございまして、
2:47:16	こちらは排水設備には期待していないんですけれども、
2:47:21	タンクが損壊した場合の、
2:47:24	井清協を
2:47:27	一緒。
2:47:28	た場合のアクセスルト推移の評価をしております。
2:47:32	解析結果、
2:47:34	ですけれども、
2:47:38	696 ページから、
2:47:41	結果、
2:47:42	示してございまして、
2:47:44	解析の結果、
2:47:49	原子炉建屋付近や、官学設備接続交付金、
2:47:54	1 で言いますと、698 ページの図の②番と③番でございます。
2:48:04	グラフで言いますと、699 ページの、同じく 2 と 3 番なんですけども、
2:48:12	ここが一時的に間形設備の総合カノウ水である 0.21 メーターというものを一時的に超える、もう場所がございます。
2:48:22	こちらは、事象発生から 13 分経過した後は、
2:48:28	0.21 メーターを下回りますので、
2:48:31	どちらとも衛星対応に影響はないということを確認してございます。
2:48:40	はい。説明は以上となります。
2:48:44	イトウ規制庁フジワラ進まさっき説明あったババまための 691 月はこれは、
2:48:50	九条でもう 1 回説明はしてあるってことですか。
2:48:53	なんかちょっと、まあ、一応書いちゃいますけど。
2:48:56	駄目。確認ですけど、9 条で、
2:48:59	この
2:49:01	排水下の時間で支柱時間でしたり、
2:49:05	ちょっと解析も同じものなんですけども、アクセスルト、
2:49:09	としては

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:11	評価点が9条では示しな評価点がいっぱいあるというところだけ違います。
2:49:17	はい。衛藤規制庁常にその評価点、9条でや、示しないアクセスルートの評価点は何か私聞きましたかもしれないんですけど、もう1回ちょっとあっていいすかね。
2:49:39	九条のどこで説明してるかちょっと。
2:49:44	本店のハマグチさんの苦情の説明はこの図で言うとな、何番かご説明いただけますでしょうか。
2:49:53	北海道電力本店の濱口です。聞こえますでしょうか。
2:49:59	聞こえてます。
2:50:00	はい。経常溢水で評価している増加というのはどこかという質問だと理解しておりますが、698 ページの水位測定箇所のうち、
2:50:11	形状では建屋に水が浸水するかどうかという観点で評価しておりますので、010203 のそれぞれ建屋の入口で評価をしております。
2:50:22	それ以外の敷地アクセスルート上の敷地とかは9条では評価しておりません。以上です。
2:50:30	はい。規制庁志田です。わかりました。それでは質疑に入りたいと思います。
2:50:39	既設のエザキですが、
2:50:41	説明を受けたんですけど、うん。
2:50:44	例えばね、25 ページで、
2:50:46	書いてある話で、
2:50:49	いわゆる風潮としてあまり適切じゃないんじゃないかなっていう、
2:50:54	二つ目の丸の下から2行目のところに、
2:50:57	敷地全体に均一に広がるものとして岩瀬広がるものっていうか、それはどこまでなんですかっていうと、
2:51:05	基本的にその呉は、多分26 ページのこの灰色のところの、
2:51:10	A T P 10 メーター盤のところの灰色の部分全部なんですよね。
2:51:15	違う数、面積が、そういうわけではない。
2:51:21	はい。クドウでなくてです
2:51:23	広がり料金というのはまとめ資料の
2:51:27	695 ページの
2:51:31	敷地モデルの図があるんですけども、
2:51:34	ここの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:36	青から赤にグラデーションついてると思うんですけども、その範囲、
2:51:40	が敷地面積でございます。
2:51:43	んでねえ。それって、26 ページ見れば、
2:51:47	基本的には、真ん中にある①から⑥のタンク、これが 1500 立米あって固まってんですよそのあと、それ以外のやつって、全部ないんでね三分の 1。
2:51:57	にも満たない数ですよそれを全部で割ってしまうと。
2:52:01	あまりうまくなくて、
2:52:03	じゃあ、それだったらやっぱり、そういう単純な話ではなくて、むしろ、
2:52:10	せっかく計算してるんで何て言うんでしたっけ。
2:52:15	流動解析ですか、流動解析の結果、
2:52:19	を踏まえて、幾つって言うていただかないと、何かそんな単純な話じゃないような気がしていて、実際にこれ見ると、
2:52:28	もうちょっと水は高いですよでも基本的に 30 センチ位超えなければ、
2:52:34	通過できるんですよ。だから、基本的に言ったときに、ある程度時間、時間が瞬間的な時間を置いて、基本的には、
2:52:43	その時間、
2:52:46	は走れないので、それを時間、時間の範囲として、
2:52:50	カウントしていただいて、
2:52:51	走れる時間になったらという、
2:52:54	ところから、走れますって話なされた方がいいと思うんですけど、乾燥のアクセスルートのところはどこで、そこに関しては、どの何分から何分ではもう通行可能になっているので、
2:53:06	という話で、ドイツー交付
2:53:08	不能な時間があるんであればそれをカウントしていただいて、やっていただいた方がいいと思うんですがいかがでしょうか。
2:53:16	北海道電力の中瀬です。ご指摘承知いたしました
2:53:19	流動解析の結果をもとに
2:53:22	アクセスルートの評価をした方が
2:53:26	適切であると私も今認識いたしましたので、資料を修正したいと思います。
2:53:48	規制庁会田です。ここに関してはやっぱりですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:51	やっぱり全体でならしてしまうという、単純に言うと、水の量が圧倒的に少ないところも含めて流してしまうと、どう考えても十分じゃないだろうと。ただ、
2:54:02	計算した結果はちゃんと区呉コードの解析をしてやっているの、その部分的な、
2:54:07	話はかなり限定したところを、
2:54:11	保守的に計算して何っていうよりは流動解析しているので、それに応じて、
2:54:17	実際に通行できる、できない。
2:54:20	通行できる時間を限定し、時間を限定すればいいだけの話なんで、アシダ橋、
2:54:26	始める時間までは待機のあるでしょうけど待機時間を踏まえた上で説明すればいいんだと思いますけど、そういう形で整理いただければと思います。
2:54:36	よろしくお願いします。
2:54:39	北海道電力の阿久津で承知しました。
2:55:02	あとですねごめんなさい。あと、
2:55:04	この表記の話で、
2:55:08	この25%のパワーポイント25ページで、
2:55:11	行ったときに、このフローチャートで、
2:55:16	02とか0ツツミ03でこれ丸さんに、フローチャート③ってあるじゃないですか。一番下にはうちこのタンクはないんですよ。
2:55:25	今、選んで説明いただいた②だけなんですけど、
2:55:28	それぞれに、
2:55:30	この26ページ以降行ったときの、
2:55:34	タンクってすべて0に1回として、①もなければ、その左側もないわけですよ。それ該当するのが該当しないのか、があるなしやてそれ該当するのはどれなのか。
2:55:45	というのはちょっとわかる形にしてもらった方が、
2:55:48	まとめ資料を見ないとわからないので、
2:55:50	いわゆるパワーポイントの中でもわかるようにしていただけますでしょうか。
2:55:56	北海道電力中瀬ですご指摘承知いたしましたパワーポイントで、それぞれのタンクがどこになるのかというところを三重にしたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:14	いや、来るよ。
2:56:24	規制庁クマガイです。
2:56:26	23 ページの方の、
2:56:30	アクセスルではフロー図の方でちょっと確認なんですけど、
2:56:36	これは先ほど瀬崎の方から、
2:56:39	あれじゃない。
2:56:42	一番最後のところですね。
2:56:44	それぞれ、
2:56:46	地形、離隔距離等の
2:56:49	個別判断による影響、
2:56:51	影響有無となって、
2:56:53	イエスノーっていうふうに書いてあるんですけど。
2:56:56	これ、影響有無を、イエス。
2:57:00	土囊ってのは、どっちがイエスどっちがノーなんですか。
2:57:03	それはどういう、
2:57:05	そこら辺を教えてください、説明してください。
2:57:18	現時点の表、フローで読むと、
2:57:22	影響が、
2:57:24	ないものがYESのフローに行って、④影響があるものが、No にいて⑤番に行くと。
2:57:32	いう。
2:57:34	見せ方にはなっております。以上です。
2:57:38	規制庁熊谷です。
2:57:40	そうですね。
2:57:42	もう、有無って、
2:57:43	部分はどうなのかってイエスノーだと、やっぱりわかりづらいと 思いますので、そこら辺は
2:57:49	わかりやすくしていただければと思いますそれは
2:57:52	上の方では、
2:57:53	覚えて設置の有無とかっていうのもありましたが、これは設置 が、
2:57:57	ありであればイエスなんですよね。
2:58:00	そこら辺がもう、その設問とですねイエスの方が判断できるよう に、
2:58:06	していただければと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:58:16	ご指摘承知いたしました改めて見ますとちょっと誤解を何とか紛らわしい記載になってるなと思いますので、
2:58:23	わかりやすいほうに直したいと思います。以上です。
2:58:28	規制庁熊谷です。もう1点その左の図のところですね、確認ですが、この
2:58:34	一番最後で
2:58:36	左から二つ目と左から四つ目の運用ベースにて、アクセスルートへの影響を排除っていう、
2:58:43	ものと、
2:58:44	一番右の所、消火要員による消火活動により、アクセスルートへの影響排除というのが、
2:58:50	記載されていて、
2:58:52	この※印を見ると、結局その
2:58:55	左から二つ目のところも、
2:58:58	消火要員による消火活動を実施するというふうになっていて、
2:59:02	ここは、
2:59:04	どういうふうにこの記載を分けられてるのか、何か。
2:59:08	ルールが変わったりするんですか。そアノ。
2:59:11	違いをつけられている理由をご説明お願いします。
2:59:17	一見すると同じように、
2:59:18	なことをしてるのかなというふうにも見えてしまうんですが、どうなるんでしょうか。
2:59:34	お答えになってるかちょっとしないんですけども③のS-フローの部分は運用ベースでと言ってますけども、ここは倉庫に収納しているというところで、
2:59:46	火災の発生は考えにくいというフローとなっております。ただ万一発生した場合は消火活動をするという、
2:59:55	フローでございます。
2:59:56	ここに入れないものは、ダイヤの下で降りて、火災の発生を想定して、
3:00:04	その
3:00:05	それから、
3:00:08	地形、または
3:00:11	主に評価やってるのは離隔距離だけなんですけども離隔距離、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:00:15	個別に影響ないかというのを確認して問題なければ、④のフローで影響がある場合は、
3:00:23	消化するしかないよねということで⑤のフローに落ちます。
3:00:27	で、④に落ちたとしても⑤に落ちたとしても、どのフローに落ちたとしても火災発生した場合は、
3:00:38	皮膚火災所消火要員による火災の
3:00:42	消火活動というのは行いますというのが実態でございまして、
3:00:46	そういった現状ごみ考えるところのその何ていうんでしょうね
3:00:53	フローのその最後の結論の部分が、
3:00:56	今の日本語だとちょっと、
3:00:59	どういう違いがあるのかっていうのが、
3:01:02	確かに言われてみるとわかりにくいなあと思いますので、どういう違いがあるのかというフローの最後の四角で、今やってることと合うように、
3:01:13	この記載見直したいと思います。以上です。
3:01:18	はい。
3:01:18	規制庁熊谷です。
3:01:20	はい。
3:01:23	ご説明聞いて。
3:01:25	記載しようとした趣旨はわかりましたのでその趣旨がわかるような形で記載していただければと思います。それは右の方もですね結局その、
3:01:35	設計ベースにてアクセスルートへの影響排除とかっていうのも、
3:01:39	あるんですよそも同じようなことかと思しますので、
3:01:42	そこについてもご趣旨がわかるような形で記載していただければと思います。はい。私からは以上でございます。
3:01:54	はい。それでは、今のところの、22 ページから 26 ページの間のお話で、
3:02:02	会議室側で、
3:02:04	よろしいですかね。
3:02:06	ウェブで参加の方はいかがですかね。
3:02:10	よろしいですか。
3:02:12	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:13	今日はちょっと実感があまりちょっとなあいというふうな状況ですのでちょっと残りの方についてはちょっと、今回積み残しというふうに、
3:02:22	させていただこうかなとは思っ
3:02:24	て思ってるんですけど。
3:02:26	北海道電力の方で何か今のうちに、こいつあってとか、
3:02:30	そうしますか。
3:03:38	じゃあ、
3:03:55	規制庁じゃないすみませんちょっと今庁内で話をしましてちょっと時間はあまりないとはいえできるだけ早く、気づいたことは言った方がよからうということで、
3:04:09	もう私の方から、麻痺と
3:04:14	こちらの審査カガワごとにちょっと記事の点をちょっと申し上げて参ります。はい。
3:04:20	ちょっとまずまとめ資料の、
3:04:23	475 ページ開いてもらっていいですか。
3:04:35	まとめ資料 475 ページで非グループBモリ加古モリノ斜面っていうのがあります今回、斜面の評価と敷地下斜面というのは
3:04:46	今後という話があります。当然ちょっと 475 ページの平面図における堀壁がモリノ斜面、
3:04:54	次のページ見ていただいたらわかるんですけど 476 ですね。
3:04:58	でこの上の方に断面図があって、要は表土埋め戻しの上に、こういったセメント改良が乗っかっているものについての
3:05:09	評価、これってのはまだ今出ていなくて、
3:05:12	これが一、一応私の理解であると。確か、四条の周辺斜面だとか波及影響あったか。
3:05:22	日本やつと、
3:05:24	もし仮にこの構造例えば 476 の構造でOKなのかそれとも、
3:05:30	駄目だったら何か別の解釈をしたときにちょっと
3:05:33	ナカアシダの方にちょっと影響与えるような気もしないでもなくて、以前からこの話は早く、した方がいいんじゃないかと申し上げたところなんです。で、これは状況ってどうなんでしょうかね。
3:05:44	うん。今事業者のできるだけ早く、手戻りなくやるっていう、
3:05:50	作業クリティカルパスの観点からちょっとお聞きしたんですけど、いかがですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:06:07	北海道電力の三浦です。本店の瀬川さんご回答をお願いいたします。
3:06:12	はい。
3:06:13	本店の、
3:06:16	出席者のセガワです。
3:06:18	こちらのモリノ斜面についてはですね、包丁て、
3:06:23	の周辺斜面となりますことから膨張ての評価断面の結果に合わせてご説明することを、
3:06:30	地震津波側では考えてましてその結果をこちらのアクセスルートに転用してくる。そういった流れで説明を予定しているものです。以上です。
3:06:41	規制庁藤尾ですちょっともう1回言いますね。
3:06:45	4、まとめ資料のアクセスルートの関連で、476 ページを開いていただいて、ここのアクセスルートの江藤セメント改良どのが、
3:06:55	今埋戻しになってるのは、もし仮にこれが大きな段差が生じる等で、アクセスルートの成立性に影響を与える場合は、もしかしたら、
3:07:06	地盤改良しないといけない可能性があったときに、あちら側に影響を及ぼさないんですかというのを以前からお聞きしているところなんです。要は、
3:07:16	アクセスルートの進捗によってあちは音が生じないかっていうのは、
3:07:20	この件でお聞きします。いかがですかね。
3:07:25	北海道電力の瀬川です。そちらのミウラさん。
3:07:31	の所掌かと思いますが、よろしいでしょうか。
3:07:36	北海道電力河村ですすいませんちょっとこちらで所掌が行ったり来たりで、
3:07:40	今おっしゃっていただいたアクセスルートの段差評価という観点でいけばですね、一応内々の検討は済ませておりまして、段差自体は表、アクセスルート通行面には段差発生しないというのは、
3:07:53	確認はできてるところですタダですね
3:07:56	斜面の滑り評価等をとかですね、そういったところでまだちょっと一部検討が、非フカホリが必要だということございまして、そういったところを今、鋭意検討を進めているところですがこちら

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:08	おっしゃっていただいた通り、ハザード側の審査にも影響してきますので、そちらのクリティカル工程は、侵さないように検討を進めている最中でございます。
3:08:20	以上です。
3:08:24	はい。
3:08:25	もう一度言った方がよろしいですか。はい。規制庁の江崎ですけどちょっとね後で話ししようと思ったんだけど476ページでもいいんですけど、
3:08:34	いわゆるですね。
3:08:35	476ページという各断面が出てるん。
3:08:42	143ページとか望ましいんですかね。
3:08:44	これで有効解析をやってもらってただ液状化しましたっていうだけしませんが、
3:08:51	変位がこの場合ですってという話は十分じゃなくて、
3:08:54	基本は基本やっぱり設計として気をつけなきゃいけないのはアクセス性なんで、
3:08:59	いわゆる特にCC断面とかいったときに、
3:09:04	局所安定係数でこのセメント改良トガシたのね、不等沈下によって伴ってですね。
3:09:10	そうしてしまった場合、
3:09:13	局所安定係数が1を切ってしまった場合、それって、
3:09:17	ドイオオツカするんですかって通行不能と考えるんです考えないんですかとかですね。
3:09:22	やっぱもうちょっと深く考えないといけないと思うんだよね。多分、
3:09:26	はっきり言って今は何か内田のところをセメント改良等にするっていう話もあったんだけど、まずは検討してからという話はあるんではあるけども、
3:09:35	基本的に、それも含めて、そうなんださ。
3:09:41	周辺斜面の安定性なのかな。それも関係してきちゃうんだよね皆さん、何か文句に考えてるけど、そういったフラッシュを振ってそれで終わりじゃなくて、
3:09:51	スーパーフラッシュをしたときにコウこゆうエマツ首藤 全力なんで、
3:09:55	どう液状化、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:57	対象物としたならば、
3:09:59	発生力はヨウ素の発生応力を見た上で、
3:10:04	強度は液状化した。
3:10:08	として考えられるところは、強度は0にしてくださいね。
3:10:13	田植えの人は、そうなると、地表面から下までは、基本的には強度はゼロです。
3:10:19	で、
3:10:20	発生値も0としてる事業者もあるけどそれ駄目、基本的には長谷でなければいうコール解析をやって、
3:10:27	おんなじようなスベンというコール解析で考えても、
3:10:31	滑り安定性を結果が変わらないことをちゃんと説明していただかないと、
3:10:36	もう基本的は昔からこれ決まってるんだけど、J-Rでやった場合は、
3:10:43	合成は見てるんでどんなに。
3:10:45	小さくてもですね。
3:10:47	それは本社、本店の方にも言ってるんだけど、
3:10:52	いわゆる剛性を見てるわけだから走ってその出てきた発生値は、基本的にスーツ作業側として考えるため、それは将来、液状化してるから、
3:11:00	省略しますっていうキャンセルの仕方はできないですよ。
3:11:04	で、
3:11:05	剛性は、だけど液状化してるという仮定するんであれば、基本的には、
3:11:09	強度は見ないそれはオカも、会社がみんな一緒なんだよね。他んどこやってないだけでさ、ただそれは工認とかあれで、必ず確認させてもらってるんだけど、同じ結果になってるかどうか。
3:11:22	柏崎とかそういうところちゃんときちんとやってますよそういうのは、
3:11:25	でなければシマのエミと同様にシマではもう、それはもう、
3:11:31	基本的に、
3:11:34	いうコール解析で、その前は6でやっているそういう他のアブノーマルなやり方。
3:11:39	に関して言えば、それで正当であるかどうかを妥当であることを確認してます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:11:45	と同じ話になるんで、今藤原が言ってるのはそういうことだし、多分、そちらの方も名倉が投げてんですけど、
3:11:53	名倉一オダン言ってもそちらの方の、
3:11:57	ハザード側の負話が話があって、こちらは人たちが基本的に、
3:12:04	名倉が言ってることん自身を理解していないと言ってるんだけど、今言ったことがすべてです。だから、
3:12:10	やってない断層スキダ設置許可は取らないですよ。はっきり言う
3:12:15	だからその関係性が出てくるので、
3:12:17	一概に簡単な、イシハラの式でどうでしたとか言った話もないですし、
3:12:23	基本的にそういうコウノ解析をした結果、
3:12:27	滑り安定性をやってもらってこっちでは滑らないことを確認させてもらうしかないので、
3:12:33	基本的に言うとね、それを滑るようだったり
3:12:36	この上部工の上部のですねセメント改良のところはそれなりに、
3:12:42	影響を受けるようであれば、
3:12:45	アノへ傾斜とかそういうだけ段差だけじゃなくて、そう。
3:12:50	この施設そのものがどこ欠損してしまったときにそれがなかなか交通不能だってね、通告が不能か可能かなんていう判断はなかなかできるんですができないんですよ。
3:13:00	部分的に言うと、うん。
3:13:03	破壊が生じないという所、状態しか考えにくいと思うんでそういったことも踏まえてけええ。
3:13:09	検討すべきだと思うんですがいかがですか。
3:13:13	はい。北海道電力河村です。コメントいただきましてすぐこの場でちゃんとした答えができないと思いますので言われた趣旨は理解いたしましたので、
3:13:23	ちゃんと咀嚼して検討を進めていきたいと思います。
3:13:32	これに類似した話だよ、女川の。
3:13:35	モリノ包丁で、
3:13:37	網下がかなり不等沈下するような層厚が違うような状態になっていて、結局最後は地盤改良することにしたんですけど、
3:13:44	しないとどうなるかっていうとね事例だとか不等沈下であったときに、実際の母体自体がひび割れが起きれば、水が入ってくるか

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	来ないか、それか、それって難しいですよねって、もう3次元的な有効に解析しないと、
3:13:58	もう、しかもね、
3:14:02	課長間隙水圧の消散まで、ここでできるようなソフトじゃないと。
3:14:06	そう。すべてがそれが判断できないですよねって話で言っているんですよ。
3:14:11	それに近いもんですよこれはもうそこまでシビアじゃないんですけど、その通行性としての、
3:14:16	通行性を保持できるっていうのはどう何をもって通行を保持できるのか、っていうのを説明するのがちょっとね、初めてだと思うんだよね。
3:14:25	そういった面でいうと、
3:14:27	なのでその辺も含めて考えないと説明したことにはならなくなっちゃってるんで、それも踏まえてですね、簡単に答え出すんじゃなくて、それとともに、
3:14:37	あっちの、
3:14:38	その結果を流用して、
3:14:40	彼らのフラッシュのモデル、またその安定性の計算の教科書というのは、
3:14:46	成立化しないかという話も出てくるので、全部リンクしてきますよっていう話。
3:14:52	だから結構これって簡単そうで、簡単というか、簡単な話のように聞こえるけど、結構、
3:14:58	設計全体としてはいわゆる、
3:15:02	木曾包丁での安定性評価にも関係してくる話なんで、
3:15:08	30ですよ。だから括弧それなりに重たい話にもなるだろうし、
3:15:12	4条の周辺地盤周辺斜面の安定性評価にも関係してくるので、
3:15:17	これで普通に種類あるんでそれなりに何かこういうこの解析っていうのは、それなりに力入れてやらないと、
3:15:24	こう、
3:15:25	なかなかそう。うん。すべてがうまくまとまらないっていう話になると思うんでそれはよくよく考えて整理してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:15:34	北海道電力河村です承知いたしました。1点だけ、先ほど江崎さん、スーパーフラッシュっておっしゃってたんですけどフラップって、
3:15:41	フラップですね。はい。
3:15:43	はい。以上です失礼いたしました。
3:15:50	そしたら私の方から、もうアクセスルートの液状化とかその感じでちょっともう、今気づいてることについてもう今口頭で、
3:16:00	述べさせていただきます。まとめ資料の29ページを、
3:16:05	開いていただいて、
3:16:08	29ページこれ記載だけです。
3:16:11	先ほど何か文字がわかりにくいとかいうのは文字がちっちゃくてわかりにくいというのは頻繁にちょっと北電の資料として申し上げますけど、これも、
3:16:21	わかりにくいですこれ今回何を見て欲しいんですかって言ったときに、段差ですよ段差が出る箇所ってどこですかっていうのが重要なのに、この平面図で、
3:16:31	緑色のちっちゃい丸尾見つけるのにすごい苦労するんですけど、米田させて欲しいんですよ。いいですかね。ちゃんと
3:16:42	これ全体的になるかもしれない、北電が何示したいものはちゃんと目立たせてくださいこれ。
3:16:48	なんか担当者作ったら絶対これ、担当しか気づかないんですけど上の人が見たら気づくじゃないですか。これ見たら、見ただけでわかりますよね、緑色のやつがどこだって。
3:17:00	いいですかねがチェックをきちっとしていただけるようお願いしますよろしいですか。
3:17:04	はい。北海道電力の三浦です。ご意見、承知いたしました。示し方について再考いたします。
3:17:11	同様にまとめ資料の方の135ページも、
3:17:16	開いてもらっていいですかね。
3:17:19	まとめ資料の135ページで、
3:17:23	第6-13表。
3:17:27	土建側の人間は、この一つ一つの施設60個ですかこれ一応、どこにあるかっての一応見ようとしてるんですけど、余りにも文字がちっちゃい過ぎて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:39	これも2ページとかは分けてもいいと思うんですよね。ちょっとわかりやすく見せる資料にさせていただきたいこれ、ここだけじゃないです他にも、全体的に何かありますよね。
3:17:54	とかだと思うんですけどそこでちょっともう1回総ざらいして、大きくしまっていいますか。
3:18:00	北海道電力の三浦です。意見承知いたしました。現状一つの表と一つの図面が図になってございますが、今後、エリアごとに表分けですとか図面わけですが、考えていきたいと思えます。以上です。
3:18:13	はい。続きましてパウポの方に戻ると、29ページのところなんですけども、一応、段差発生、
3:18:22	箇所15センチ以上かなというのは防潮低という、この左の方の断面図が示されてで、一応まとめ資料とか見るともう1ヶ所、あるぐらいなんですよね。15センチ、
3:18:36	CVケーブルダクトかな。
3:18:38	もう2ヶ所ぐらいいたらもう2ヶ所と書いたらいいんじゃないですかね1ヶ所だけ、今10ヶ所別やったら、1ヶ所でもいいと思うんですけども、2ヶ所しかなかったら、
3:18:48	もう2ヶ所、どう、いかがですかねこれは、
3:18:52	北海道電力の三浦でございます。承知いたしましたすべて示しをいたします。以上です。はい規制庁志賀です。すべてごめんなさい、もう1回言います。
3:19:02	実際に出てきたものを踏まえて、省略した方がよりわかりやすかったそうでもいいですけど、省略しないんでもいいんだったらもうそれはわかりづらかったんで。
3:19:13	もう1回ちょっとこの資料、要はなぜ稼ぐ先行で1ヶ所しかやってなかったからとかそんなことがないようにですね、やってもらっていいですか。
3:19:23	北海道電力の河村です総じてわかりづらいというか、考え方が硬直してるところがありますので、臨機応変にわかりやすい資料を心がけて作っていきたくと思えます以上です。
3:19:34	はい。もう1個だけ私の方からは32ページパウポの32ページなんですけども、
3:19:43	鉛直方向の変位が、
3:19:47	2.6センチとちっちゃくってという範囲、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:52	根拠で、いろいろやっておられるんですけど、ちょっとまず事実確認として、なぜ1メートルの範囲内における、2.6でよかったですっけ。
3:20:04	はい。北海道電力の三浦です。衛藤アクセスルート幅4メートルに対して我々の方で1メートル当たり、一番段差が大きいであろうところをピックアップしてお示ししてございます。
3:20:19	以上です。
3:20:20	なるほどですけど要は1メートル間隔で計算のポイントがあって、そこの中の最大の勾配がここだからってというのは、全然わかんないですね。
3:20:33	そこは、いやそれでいいのかっていうのはあるんですけど、もし仮にだったらそうツールとして、
3:20:38	そもそも論なんですけど、これってアクセルにとってあれですよ。この奥行き方向32ページの断面図の区域方向に、
3:20:46	行くやつでしたっけ。
3:20:47	これが、
3:20:48	何ですかねこの評価によって要は限界の9、
3:20:53	ガムそもそもちょっとよくわからないのに、これが2.6だから大丈夫っちゃうのが、私イメージがわかんなくて、何かこれって先行で、こういった審査なんかや、
3:21:05	店舗。
3:21:09	はい。衛藤考え方的には至近のサイトである女川で白石前さんで資料を参考に評価しております。ごめん。じゃあ、どれくらいだったら駄目になるかって何かあるんですけどこれって。
3:21:23	はい。北海道電力の阿比留です。こちら屋外アクセスルートの評価においては、段差は15センチを基準値として評価してございます。
3:21:33	規制庁石井です車両進行方向に対して15センチ、
3:21:38	だったらわかるんですけどこれ車両横断方向。
3:21:42	それで、
3:21:43	流用したってことですか。要は、はい、ご認識の通りでございまして、こちらの段差でいきますと、横断方向に2.6センチの段差ができていようなイメージかと思いますが、
3:21:54	こちらの評価としては縦断方向の15センチを持ってきまして評価をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:21:59	うん。規制庁ちゃうそしたらですよ。要は言いたいのは2.6センチぐらいの大したことない量ですって言いたいんだと私は思いました。だったら、もちろんロジックを作ってもらっていいですか。
3:22:12	要は縦断本来、15、縦断方向で15センチの許容限界があると。
3:22:19	それに対して横断方向を仮に評価するとしたら、計算結果がこうであってそれに対して、要は15センチ、0指標みたいなものに対して、大丈夫ですよ。
3:22:30	て言いたいんだったらそういうふうには書かないとこれ、何、何を見たいかわかんなかったんすよ。そいいですかねそこだけ、ロジックだけ。
3:22:39	北海道電力の三浦です。こちらの方、ご意見拝承いたしました。示し方について再検討いたします。
3:22:53	規制庁の江崎です。私からパワポの30ページで、
3:22:57	ずばり言うと、この箱書きの二つ目の矢羽根の欄、真ん中にある水木は1400メートル以内。
3:23:06	範囲としているからっていうのはこれはね、多分証明した方がいいと思うんでフィリップ結果で出てくるでしょ。
3:23:12	証明してください。なぜ、なぜ証明してくださいって検証した方がいいっていうかという、
3:23:18	基本的に言うと、
3:23:20	同居使用者で一定の港湾施設で、
3:23:26	32ページで言うと、32ページのこういった海辺のところ、
3:23:31	流出してしまうからっていう話があって、我々が対象してるのは、その海側の話はどうでもよくて、
3:23:38	むしろ地下水も高い、アクセスルートがこう乗っかってるとこですよ。だから、通常いうと、防潮てから、うち、うちが200メートルなんじゃないですかって話。
3:23:49	だけど、
3:23:50	少なくともFLIPの計算してるから、多分この辺言ったらほとんど何センチも水平移動は、
3:23:56	ほとんどしないはずなんだよね。それなぜかっていう膨張てが不不同だから、不不同ないように設計してるからでしょ。
3:24:02	だから本来であれば、
3:24:05	どの仕様書の話っていうのはこう言うと、Cクラスのものが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:24:11	転倒してしまったり、傾いたりして、
3:24:15	液状化したものが流出、海にしてしまっていて、そこは流動の影響が出てくると水浅部が出るんだよね。そそれって別に関係ないんでそこから1と言ってくるって来てくださというだけの話で、
3:24:27	守りたいっていうのは、この膨張てるね内側でしょ。
3:24:31	なので、基本的にその対象っていうものが地震が膨張低があることによってその粒度が基本的に抑制されちゃってるんだよね、設計として。だからこの100メートルっていうのは何の意味もない。
3:24:43	だ通りの仕様書のものをね適用範囲外としか言いようがないんだけど、そこまで厳しく言わないので、100メートル部分この今これ80メートルぐらいなんだけどもね、防潮とアクセスルートのところは、
3:24:56	その辺のところを含めてですね100メートル範囲であればほとんど、他サイト見ても、水平方向の変位ってあんまり出てないんだよね。
3:25:06	だからそれを逆に言うと、出してもらった方がよくて、だから、32ページにはこの鉛直方向だけじゃなくて、もうちょっと後の背後の部分含め、含めた水平、
3:25:17	方向変位箇所だけにしてるように、ああいうようなものを提示してもらえば、
3:25:23	基本的には、解析的にもそれが説明でき検証できてんだなっていうことはいえると思うので、それをまず説明して、
3:25:31	もらえれば別にこの文章を云々直せとかユフつもりはないので、
3:25:36	そこが説明できるように、32ページは、水平方向の変位も出してください。
3:25:42	それとともにですね、そうするとさっき言ったような仮定でいうと、
3:25:47	31ページみたいな断面でいうと、基本的にはみんなあの緑の防潮底が頑張っちゃってるんで、
3:25:54	そこを流動がないので、そこは流動部の水辺イデないんだよね。であるとしたらば、岩盤の不陸、
3:26:02	計算によって多少、
3:26:03	水平方向変化ってあまりそ側方流動と呼ぶべきものかよくわからないけど多分、多少なりとも出てくる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:26:10	それが、
3:26:11	そういった観点で、場所を選んでますかっていうと、今これ 32 ページの部分は、この
3:26:19	汀線直交方向としてはここは傾斜があるっていう、
3:26:22	岩盤として、
3:26:24	選んでるのかもしれないんでそういう説明をしてもらう必要があ って断面選定として、
3:26:28	そのときに、あと問題は、一番問題は 2.6 センチって 30 出てんだ けど、
3:26:35	これとの水平方向の変位はあまり起きてないはずなんで、2.6 であ れば、むしろ
3:26:41	その数を還元し硝酸による変位の方が多くなるんじゃないのって いう話があってそれって F L I P じゃ表現できないわけだから、 それも加算して、
3:26:50	あげた方が増えたと思うんですがいかがですかちょっとナガヌ マ。
3:26:55	はい。北海道電力の三浦でございます。今 2 点ほどご質問いただ いたかと思っております。まず 1 点目水平方向の交流の平 易なんですけども、まとめ資料の方には記載してございまして、
3:27:09	右下ページ 151 ページをお願いいたします。
3:27:16	こちら、パワポの方には鉛直変位、段差に関するものを示しては いるんですけども、失礼いたしました。まとめ資料の方には、
3:27:26	第 6-40 図になります。
3:27:29	こちら F L I P による速報、F L I P による鉛直、水平変位、
3:27:35	に加えまして、箇条書き性詳細に伴う沈下量を追加して、記載し てございますので、鉛直のところ、段差が多く出ているところ は、
3:27:48	ちょうど岩盤が神戸が持っているところになってございます。
3:27:52	これ 100 メーターまではどうせないモデルがそこまでないんだっ けでも、これだよ。アクセスルートで 83 だから、100 メーター だったらもうちょっと言うので、
3:28:02	そのぐらいカワカミねもうでも一緒なのかな。うん。
3:28:08	はい。北海道電力の三浦です。解析モデルにつきましては、少し 前に戻って 150 ページの方の第 6-38 図に記載、静清しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:28:20	こちらの方の解析の方からは、鉛直水平変位、アクセスルート、元敷地側の方も抽出できるかと考えておりますので、先ほど、再検討したいと思います。
3:28:36	ございました。
3:28:39	はい。衛藤 1.7%のところは、埋戻し度数圧にかけて追加した。はい。鉛直変位 F L I P による鉛直変位と、
3:28:49	箇条書き施設分を足した値の鉛直相対変位が、図の 6-40 に示すものとなっております。
3:29:01	規制庁の江崎です。この辺ですね、パワポの方も、かなりもう少し、
3:29:06	説明性を充足していただいた方がわかりやすいかと思えますのでよろしくをお願いします。
3:29:13	須藤電力の三野です。承知いたしました。
3:29:16	あと記載の内容だけなんですけど、パートの、
3:29:18	細かい話なんですけど。30 ページで、
3:29:23	上から四つめるかな。
3:29:27	上から三つ目ですか。そって、
3:29:34	ちょっと待ってください。
3:29:42	そうですね。三つ目のところで、
3:29:44	まず C エリアの話があってこの C エリアについて、
3:29:51	この
3:29:54	江森の構造の云々で断性評価を行うためにここで除外するって書いてあるんだけど、一応この図面はダメつつって、確かまとめ資料には入ってきてると思うんですけど。
3:30:04	それも、一応、わかりやすさの観点で、
3:30:07	図を追加していただけますでしょうか。
3:30:12	はい。北海道電力の宮です。ご意見承知いたしました図を追加いたします。以上です。
3:30:17	続いてですね、その下の行の B エリアについては、
3:30:22	包丁てや耐震性を有する云々のエリアであることから、
3:30:27	っていう話なんですけどこの文章がちょっとわかりにくいんで、この
3:30:32	もうあることからっていう、後の足を d u 同和提案して抑制される想定されるっていう話だけど、そこは流動は多分、A エリアよりも軽減されることが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:30:45	てことでね多分、何の式もないところの話なんで、
3:30:49	基本的には営業みたい何もないようなところであれば、可能性はあるかもしれないけど、
3:30:53	いわゆる
3:30:55	施設がかなり囲まれてるところであれば、抑制されるっていうか軽減されるっていう話で、エリアみたいなところよりも軽減されるっていうんで、完全抑制されちゃうわけじゃなくて、
3:31:06	どどこかよりも、
3:31:08	もう、要は水平は小さいって言うだけだと思うんですね。
3:31:13	その辺がわかるちょっと制約に伝わるように、ちょっと表現はちょっと。
3:31:16	適正化してください。
3:31:20	北海道電力のミウラです表現適正化いたします。以上です。
3:31:24	私から以上です。
3:31:26	坂下。
3:31:29	仲長田です。私の方からコメントだけなんですけど、
3:31:33	資料 2-1 の、
3:31:37	21 ページ、31 ページに、
3:31:40	液状化による側方流動の評価方法 2 分の 2 から、
3:31:46	1 番目の丸において、検討に用いる基準地震動は、
3:31:51	S s 案を選定するって書いてあるんですけど、
3:31:55	ナガエ S S 湾に絞った理由がいろいろ書いてあるんですけど、
3:32:01	基本的に液状化の試験の
3:32:05	まとめ資料 1-2 を見ると、等価せん断応力比とか見ると S S の、
3:32:11	2-8 とか、S s 2-10 とか S 2-4、
3:32:16	というのはかなり液状化するようなデータになってるんで、
3:32:20	なんでエスワンだけに絞り込むのかなと、液循環見ると、むしろ S S、新野。
3:32:27	8 とか、
3:32:30	10 とか 4 も、
3:32:32	この三つぐらいはやらないといけないかなと思うんですけど。
3:32:36	なぜ S S を右腕だけに絞り込んだのでしょうか。
3:32:40	これだけで本当にいいんでしょうかという質問です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:32:45	はい。北海道電力の三浦です。S s1 を選定した理由としましてはこちらの資料に記載の通りなんですけども、今おっしゃっていただいた通り、液状化に影響が大きいで、
3:32:58	あろう可能性がある地震はほかにもあるかと、今考えてございますので、今後、追加検討をする等、採決をしたいと思います。以上です。
3:33:09	お願いします。あと私の最後の方から、
3:33:12	資料 2-2 の 563 ページ。
3:33:19	沈下量の想定 B、建屋近傍の沈下量なんですけど、
3:33:24	これイシハラの方法、プラ 1.7% を使ったっていうのはわかったんですけど、
3:33:31	次なる発電機建屋の館野近傍の沈下量について、
3:33:37	一般部の水、想定量 10 センチの 3.5 倍の 35 センチとするって書いてあるんですけど何で 3.5 にしたんでしょうか。
3:33:47	これってどこも根拠なかったんですけど、理由があれば教えてください。
3:33:58	北海道電力の中橋です。3.5 倍の根拠なんですけども、563 ページの、
3:34:04	一番上の記載にですね、2007 年新潟県中越沖地震における、
3:34:11	笠井苅谷原発の結果で、建屋近傍の沈下量が一般部の 3.5 倍。
3:34:17	であったことから、これに倣って、こういった実績があるということ踏まえて、
3:34:23	3.5 倍としておりました。ちなみに女川さんも同じ数値でやってございますイセ町ナカセですこれってあれですよ。
3:34:33	柏崎の郷の建屋の埋戻地盤の地震時の底ルールに関する遠心模型実験のシミュレーションって、
3:34:43	地盤工学ジャーナルの値から持ってきてるんですけどあれは柏崎をベースにしてるんで、
3:34:49	まあとハタして、同じような、締固め度が違いますよねここはできまじり締固め度ですよ。それに合わせて、何ちゅうか、首藤首藤を滑りと。
3:35:02	揺すり込み沈下合わせた数が柏崎ではこうだって言ってるんで、この 3.5 倍っていうのはこのサイドで使えるかっていう検証の上で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:35:12	使う、それともこのサイトでは安全側だから使うという理屈を明確にした上で、
3:35:18	使って欲しいなと思ってるんですけどよろしいでしょうか。
3:35:25	はい。北海道電力の中筋さんのご指摘承知いたしました。最サイトウの地盤の特徴も踏まえて、柏崎さんの3.5倍が泊適用できるのかどうか、こういったところをちょっと確認したいと思います。以上です。はい。よろしく申し上げます。私から以上。
3:35:59	規制庁が悪い。ここまでの、今日の資料全体通じたんですけども、
3:36:04	何か確認しておきたいこと、開発側、
3:36:07	よろしいですかね。
3:36:09	そっか。
3:36:13	規制庁アキモトですSAの部分についてはまだ話聞けてないので、また別途どっか事務的に日程調整させていただいて、1回目をまたやりたいと思います。はい。よろしいですか。
3:36:29	はい北海道電力の藤田です。承知いたしました。Sはまた別途、調整させていただきたいと思います。よろしく申し上げます。
3:36:39	ここまでの中でWebで参加の方を含めて、特になければ、
3:36:48	今日のヒアリングのコメント回答の内容の、
3:36:53	継続加療かっていうのをですね、
3:36:56	そうですね。
3:37:00	はい。お手元に資料2-5ですかね。
3:37:03	これちょっと準備いただいて、
3:37:05	これの、
3:37:06	11番、黄色、8で書かれてるところについて、
3:37:11	両会員中を確認します。11番についてはこれはもう量ということでさせていただきます。
3:37:18	中にも量で、
3:37:19	34番、
3:37:24	これは、
3:37:26	そうですね。
3:37:29	今回これ説明なかったですね、まとめ資料。
3:37:34	これ、
3:37:35	まとめ資料 826 ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:38:18	あ、はいこれはSNP等ということでまだちょっとこれは今回説明なかったということで、はい、OK。今回この後説明なし。
3:38:30	以上ですので、ちょっと本日のコメント内容について確認をちょっと、
3:38:36	整理します。一旦文字起こし停止します。
3:38:39	はい。規制庁藤原ですコメントに関する整理が終わりましたので読み上げて参ります。
3:38:46	1号及び2号の原子炉建屋の解析モデルについては建設工認から今回、
3:38:51	に変更した内容については理由を整理し、説明してください。
3:38:58	その次は、代替給電用資機材コンテナのアクセスルート、幅員等の必要な4メートルに比べて裕度が小さいものについては、
3:39:09	測定方法を改めて整理し、説明してください。
3:39:20	次へと外装材の落下による影響範囲の考え方が、SEも対応できることを説明してください。
3:39:32	はい。その次はモリタ道路について下部の運用の指導が液状化したことを仮定するのであれば、滑り安定性を評価するとともに、強度が0となることを想定の上で、
3:39:43	モリと道路に関するアクセスルートの成立性の観点で今後説明をしてください。
3:39:50	その次としてはS s 1に絞り込む理由について充実させた上で地震動の追加評価の要否を整理して、
3:40:01	説明してください。これ他のS s - Dと液状化の影響、ちょっと一つ前の地盤の液状化のヒアリングであった繰り返し、等価回数ですかね、あれの観点を踏まえて整理してください。
3:40:15	その次がディーゼルターボ発電機建屋近傍の沈下を一般部の算定5倍に設定したことについては、泊に適用でいくと、根拠を説明してください。
3:40:26	以上、北電から何か、
3:40:29	確認ございますか。
3:40:35	北海道電力から特にございません。
3:40:39	はい。
3:40:42	はい。今日一応ちょっと説明は残っておりますが、今日のヒアリングはここまでとしたいと思います。以上とします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。